

令和5年度  
大阪市 子どもの生活に関する実態調査

調査報告書〔大阪市鶴見区版〕

令和6年3月

大阪市

調査研究業務 受注者

公立大学法人大阪 大阪公立大学



## 目 次

はじめに	1
<b>I 調査概要</b>	
1. 調査の目的	2
2. 調査方法	2
3. 調査内容	2
4. 調査対象者	2
5. 調査実施日	2
6. 調査配布・回収率(数)	2
7. 調査実施主体	4
8. 研究者一覧	4
9. 大阪府内全自治体のデータ統合時の扱い	5
<b>II 調査結果</b>	
A. 小中学生・保護者調査報告書	6
1. 回答者の属性	6
(1)小学生・中学生	6
(2)保護者	8
2. 単純集計	9
(1)所得	9
(2)生活環境	62
(3)教育環境	146
(4)社会環境	174
3. クロス集計および分析結果	207
3-1. 経済状況	207
3-2. 家庭状況(制度等)	224
3-3. 雇用	294
3-4. 健康	302
3-5. 家庭生活・学習	350
3-6. 対人関係	453

B. 5歳児保護者調査報告書	520
1. 回答者の属性	520
2. 単純集計	521
(1)所得	521
(2)生活環境	531
(3)教育環境	541
(4)社会環境	543
3. クロス集計および分析結果	546
3-1. 経済状況	546
3-2. 家庭状況(制度等)	557
3-3. 雇用	594
3-4. 健康	607
3-5. 家庭生活・学習	619
3-6. 対人関係	649
<b>Ⅲ 総合考察</b>	<b>651</b>
<b>Ⅳ 資料編</b>	<b>669</b>

## はじめに

2014年1月「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が施行されたことをスタートに、2014年8月「子供の貧困対策に関する大綱」が策定された。これら政府の動きを受けて、大阪市や大阪府内自治体含む大阪府は約10万件にも及ぶ子どもの生活に関する実態調査に共同で取り組んだ。府内すべてを網羅したこと、同じ調査で実施したことの意味は、大きい。なぜなら、各自治体がばらばらに実施し結果を見せても共通の指標にならず、この数値がどうなのか、意味があるのか、よくわからない実態も少なくない。世間でもかなり話題になり、マスコミに多数取り上げられた。この頃には、子どもの貧困が広く知られ社会問題化されつつあったが、この大規模な調査の動きは拍車をかけたのみならず、データ数の多さから、全て実証され、以下に示す政策にも少なからず影響をもたらした。

2019年6月「子どもの貧困対策の推進に関する法律」が5年ぶりに見直され、「こどもの貧困対策の推進に関する法律の一部を改正する法律」が施行された。それを受けて、同年11月「子供の貧困対策に関する大綱～日本の将来を担う子供たちを誰一人取り残すことがない社会に向けて～」が再策定された。大綱では、「支援が届いていない、又は届きにくい子ども・家庭に配慮して対策を推進する」、「困窮層が多様であること」、「社会的孤立に陥ることのないように配慮する」など新たな視点が基本方針として追加され、ヤングケアラーと思われる子どもや、外国籍や障がいを持つ子どもたちなど、具体的な困窮層の子どもや家庭が示された。同時に、2023年4月にこども家庭庁が発足され、貧困をはじめとする子どもを取り巻く社会問題にシームレスに向き合い、途切れない政策・支援を打ち立てていくことが期待されている。

こうして子どもの貧困に関する社会的認知や政策が知られるようになったが、子どもの実態はどう変わったのであろうか。政策の効果は表れたであろうか。そんな思いをもって、大阪市では再度府内自治体とともに子どもの生活に関する実態調査が共同実施されることになった。全国的にここまで一体的に実施する都道府県は存在せず、大阪府内の大半を占める大阪市が大阪府とともに先進したことによる影響は大きい。

子どもの貧困については、前回と同様に、その国の貧困線未満の所得で暮らす相対的貧困の17歳以下の子どもの存在および生活状況を指す相対的貧困率でとらえる。OECD や厚生労働省調査の貧困率には等価可処分所得の中央値の50%が使用されているが、絶対的なものではなく、EU、ユニセフは公式の貧困基準のひとつに中央値の60%を使用（ただし、常に60%基準採用ではない）している。前回同様、60%のラインも含め検討している。子どもの相対的貧困率については、発表主体、統計利用データ年次によって変動する。内容的には、タウンゼンドの定義を元にChild Poverty Action Group（CPAG）が示している、①所得や資産など経済的資本（capital）の欠如、②健康や教育など人的資本（human capital）の欠如、③つながりやネットワークなど社会関係資本（social capital）の欠如、の3つの資本の欠如を基本的な枠組みとしてとらえる。

## I 調査概要

### 1. 調査の目的

子どもたちの未来が生まれ育った環境によって左右されることなく、自分の可能性を追求できる社会の実現をめざし、行政が的確な施策を行うため、大阪府との共同実施にて大阪市内の子どもたちの生活実態等の調査によって現状を把握し、得られた結果から今後の施策を検討することを目的とする。

### 2. 調査方法

大阪市内の調査対象の世帯に、学校・園・保育所を通じて調査票を配付し、回収を得たもの。

### 3. 調査内容

巻末の調査票参照

### 4. 調査対象者

大阪市立小学校5年生の全児童とその保護者（18,975世帯）

大阪市立中学校2年生の全生徒とその保護者（16,920世帯）

大阪市内認定こども園、幼稚園、保育所等の全5歳児の保護者（18,686世帯）

### 5. 調査実施日

大阪市：令和5年6月27日～令和5年7月14日

大阪府内全自治体：令和5年6月27日～令和5年9月30日

### 6. 調査配布・回収率(数)

#### 大阪市回収状況

配布対象	回収率(%)	回収数	配布数
小学5年生	69.2	13,124	18,975
小学5年生の保護者	69.4	13,174	18,975
中学2年生	67.9	11,488	16,920
中学2年生の保護者	67.7	11,460	16,920
小学5年生・中学2年生合計	68.6	24,612	35,895
小学5年生保護者・中学2年生保護者合計	68.6	24,634	35,895
5歳児の保護者	75.7	14,138	18,686
計	70.1	63,384	90,476

### 大阪府内全自治体回収状況

配布対象	回収率(%)	回収数	配布数
小学5年生	56.2	23,289	41,458
小学5年生の保護者	55.0	22,819	41,458
中学2年生	51.4	19,990	38,911
中学2年生の保護者	49.8	19,390	38,911
小学5年生・中学2年生合計	54.0	43,370	80,369
小学5年生保護者・中学2年生保護者合計	53.9	43,358	80,369
計	54.0	86,728	160,738

※大阪府全自治体の小学5年生・中学2年生合計、小学5年生保護者・中学2年生保護者合計の数値については、学年不明分を含んだものとなっている（子ども：WEB 4件、紙 87件、保護者：WEB 971件、紙 178件）。

※大阪府内全自治体の小学5年生、小学5年生保護者、中学2年生、中学2年生保護者、小学5年生・中学2年生合計小学5年生保護者・中学2年生保護者合計の数値については、一部自治体の他学年分を含んだものとなっている。

### 大阪府内全自治体回収状況:配布・回収方法別

配布・回収方法	調査票種類	回収率(%)	回収数	配布数
学校配布 ↓ 学校回収	小学5年生	61.6	15,927	25,852
	小学5年生の保護者	62.6	16,178	25,852
	中学2年生	58.3	13,712	23,539
	中学2年生の保護者	58.2	13,707	23,539
	小学5年生・中学2年生合計	60.1	29,674	49,391
	小学5年生保護者・中学2年生保護者合計	60.7	29,977	49,391
	計	60.4	59,651	98,782
学校配布 ↓ 郵送回収	小学5年生	22.6	1,401	6,191
	小学5年生の保護者	22.2	1,376	6,191
	中学2年生	15.3	936	6,099
	中学2年生の保護者	15.5	943	6,099
	小学5年生・中学2年生合計	19.2	2,362	12,290
	小学5年生保護者・中学2年生保護者合計	19.2	2,361	12,290
	計	19.2	4,723	24,580
郵送配布 ↓ 郵送回収	小学5年生	21.3	2,003	9,415
	小学5年生の保護者	21.0	1,978	9,415
	中学2年生	17.8	1,646	9,273
	中学2年生の保護者	17.8	1,653	9,273
	小学5年生・中学2年生合計	19.7	3,676	18,688
	小学5年生保護者・中学2年生保護者合計	19.7	3,675	18,688
	計	19.7	7,351	37,376

配布・回収方法	調査票種類	回収率(%)	回収数	配布数
学校配布 ↓ WEB回答	小学5年生	23.0	3,007	13,068
	小学5年生の保護者	17.0	2,228	13,068
	中学2年生	21.3	2,714	12,718
	中学2年生の保護者	16.0	2,037	12,718
	小学5年生・中学2年生合計	22.2	5,723	25,786
	小学5年生保護者・中学2年生保護者合計	19.2	4,949	25,786
	計	20.7	10,924	51,572
郵送配布 ↓ WEB回答	小学5年生	10.1	951	9,415
	小学5年生の保護者	11.2	1,059	9,415
	中学2年生	10.6	982	9,273
	中学2年生の保護者	11.3	1,050	9,273
	小学5年生・中学2年生合計	10.4	1,935	18,688
	小学5年生保護者・中学2年生保護者合計	12.8	2,396	18,688
	計	11.6	4,331	37,376

※各配布・回収方法の小学生5年生・中学2年生合計、小学5年生保護者・中学2年生保護者合計の数値については、学年不明分を含んだものとなっている（子ども：WEB 4件、紙 87件、保護者：WEB 971件、紙 178件）

※大阪府内全自治体の小学5年生、小学5年生保護者、中学2年生、中学2年生保護者、小学5年生・中学2年生合計、小学5年生保護者・中学2年生保護者合計の数値については、一部自治体の他学年分を含んだものとなっている。

なお、未就学児童の保護者を対象とした調査も大阪府内の3自治体において実施した。さらに1自治体では、小学5年生・中学2年生以外の学年の児童とその保護者を対象とした調査も実施した。これらの合計配布数は、19,513件、回収数は 14,626件、回収率 75.0%であった。

## 7.調査実施主体

大阪市

調査研究業務受託者

公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科

## 8.研究者一覧

担当者 公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科

教授 山野 則子（業務責任者）

特任講師 橋本 磨和

シニア研究員 永田 麻衣

シニア研究員 佐伯 厘咲

シニア研究員 李 孟

協力者 公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科

准教授 嵯峨 嘉子

研究補助者 公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院 経済学研究科

准教授 牛 冰

武庫川女子大学 社会情報学部 社会情報学科

助教 駒田 安紀

大阪商業大学 公共学部 公共学科

助教 林 萍萍

奈良佐保短期大学 地域こども学科

講師 河村 信子

公立大学法人大阪 大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科

研究員 黄 健育

研究員 渡邊 陽亮

大阪公立大学大学院 現代システム科学研究科 専攻社会福祉学分野

林 慎吾

松浦 孝範 久地井 寿哉 渡邊 祐作

## 9.大阪府内全自治体のデータ統合時の扱い

本報告書においては、大阪市と大阪府内全自治体をそれぞれ掲載している。大阪市のデータについては「I. 調査方法 2～9」で述べた方法で収集したものである。大阪府内全自治体については、大阪府25市町村のデータに共同実施18市町のデータを統合したものである。これら全自治体においては、小学生・中学生27問、保護者26問をそれぞれ共通設問として調査項目を設計し、全体を統合して扱うあるいは比較することが可能なものとした。なお、一部の市においては、これらの共通設問とは別途把握したい内容がある場合に限り、追加で独自設問を設けている。

調査の結果、府と他共同実施18市町との間で回収率や回収数に差が生じた。府では、予めサンプリングした対象8000件への配布を行いその約30%の回収となったのに対し、他共同実施市ではほとんどの市が全数配布の結果、高いところでは90%近い回収率となっている。このため、自治体間で回収率あるいはサンプルサイズの補正を行うか否かについて検討し、補正は行わないとの結論に達した。

1点目の理由としては、今回の調査では調査票配布の方法に郵送配布と学校配布の2種類があり、いずれを用いるかは自治体の状況に基づいて決定された。配布方法が異なることで回収率に差が生じることは避けられないものであった。

2点目の理由としては、このような状況に対して、例えば回収率の高かった自治体についてデータの再サンプリングなどの方法を用いて削減を行うことも意見が出された。しかし、その場合、どのような基準で選択するのかが恣意的になってしまうこと、削減後の結果を提示した場合、施策を提言するための貴重な調査結果であるにもかかわらずその一部が掬い取られないことになり、全数調査をした市においては意義が失われてしまう。

このような理由から、大阪府内全自治体のデータは回収したデータをすべて統合したものとなっている。

本報告書では、「大阪市」、「大阪府内全自治体」両者のグラフを掲載しているため、このように書き分けて論じていく。

### ※共同実施18市町

大阪市、豊中市、池田市、守口市、枚方市、八尾市、泉佐野市、富田林市、河内長野市、和泉市、柏原市、羽曳野市、門真市、摂津市、四條畷市、交野市、大阪狭山市、能勢町

なお、報告書においてはパーセンテージを用いて記述し、議論を進める。この中で、パーセンテージで示される数値同士の加・減・除を行う（合計する・差を把握する・何倍かに着目する）ことがあるが、実際に示された数値で算出しても結果が異なることがある。これは、示されている数値は小数第二位以下を四捨五入しているものであり、算出には四捨五入前の厳密な数値を用いていることによるものである。



令和5年度  
大阪市 子どもの生活に関する実態調査

Ⅱ 調査結果

A 小中学生・保護者調査報告書



## II 調査結果

### A.小中学生・保護者調査報告書

#### 1.回答者の属性

##### (1) 小学生・中学生

###### A-1.学年【子ども問1】

大阪市鶴見区では、「小学生」710名 47.4%、「中学生」788名 52.6%となっている。

	大阪市鶴見区		大阪市24区		0	50	100
	人数	割合	人数	割合			
小学生	710名	47.4%	13124名	53.3%	0	50	100
中学生	788名	52.6%	11488名	46.7%	0	50	100
無回答	0名	0.0%	0名	0.0%	0.0	0.0	0.0

**A-2.性別【子ども 問30】**

大阪市鶴見区〔小・中全体〕では、「男子」702名 46.9%、「女子」704名 47.0%、「その他」6名 0.4%、「答えたくない」31名 2.1%となっている。

大阪市鶴見区〔小学生〕では、「男子」339名 47.7%、「女子」333名 46.9%、「その他」2名 0.3%、「答えたくない」15名 2.1%となっている。

大阪市鶴見区〔中学生〕では、「男子」363名 46.1%、「女子」371名 47.1%、「その他」4名 0.5%、「答えたくない」16名 2.0%となっている。

**〔小・中全体〕**



**〔小学生〕**



**〔中学生〕**



(2) 保護者

A-3.子どもと回答者の続柄〔保護者 問1〕

大阪市鶴見区〔保護者全体〕では、「母親」1241名 83.0%、「父親」101名 6.8%、「おじいさん・おばあさん」3名 0.2%、「おじ、おばなど親戚」0名 0.0%、「施設職員・ファミリーホーム・里親」0名 0.0%、「その他の人」0名 0.0%となっている。

大阪市鶴見区〔小学生保護者〕では、「母親」599名 84.6%、「父親」51名 7.2%、「おじいさん・おばあさん」1名 0.1%、「おじ、おばなど親戚」0名 0.0%、「施設職員・ファミリーホーム・里親」0名 0.0%、「その他の人」0名 0.0%となっている。

大阪市鶴見区〔中学生保護者〕では、「母親」642名 81.6%、「父親」50名 6.4%、「おじいさん・おばあさん」2名 0.3%、「おじ、おばなど親戚」0名 0.0%、「施設職員・ファミリーホーム・里親」0名 0.0%、「その他の人」0名 0.0%となっている。

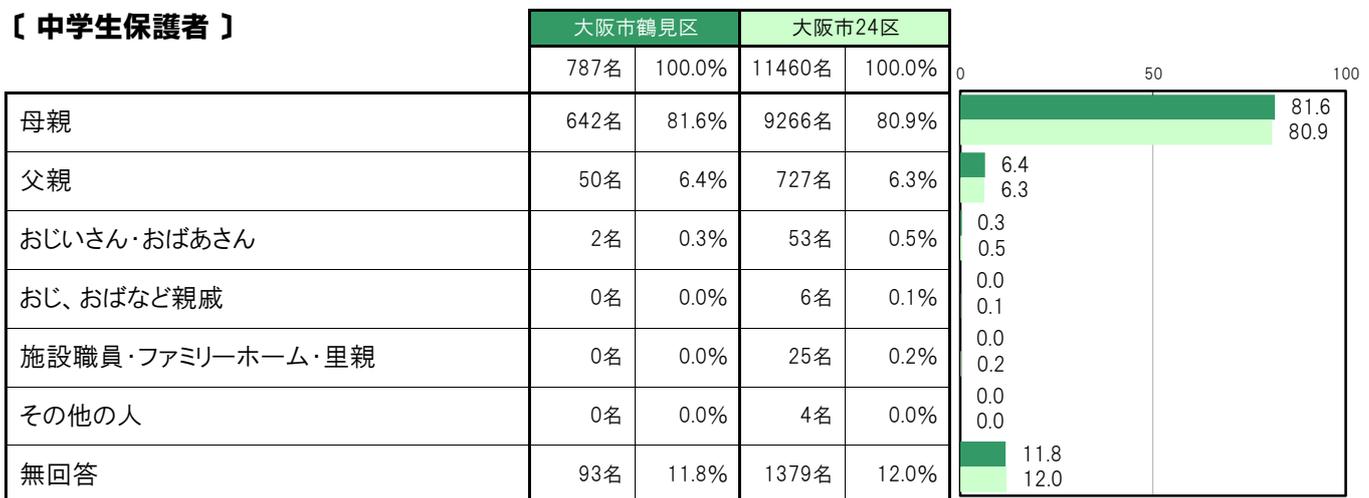
〔保護者全体〕



〔小学生保護者〕



〔中学生保護者〕



## 2.単純集計

### (1) 所得

#### A-4.2022年の世帯収入合計額(手取り額)〔保護者 問26〕

収入は給料だけでなく、株式配当や副収入を含む合計額とし、税金や社会保険料を除いた手取り額とする。  
また、公的な援助手当や養育費・仕送りを含んだ額とする。

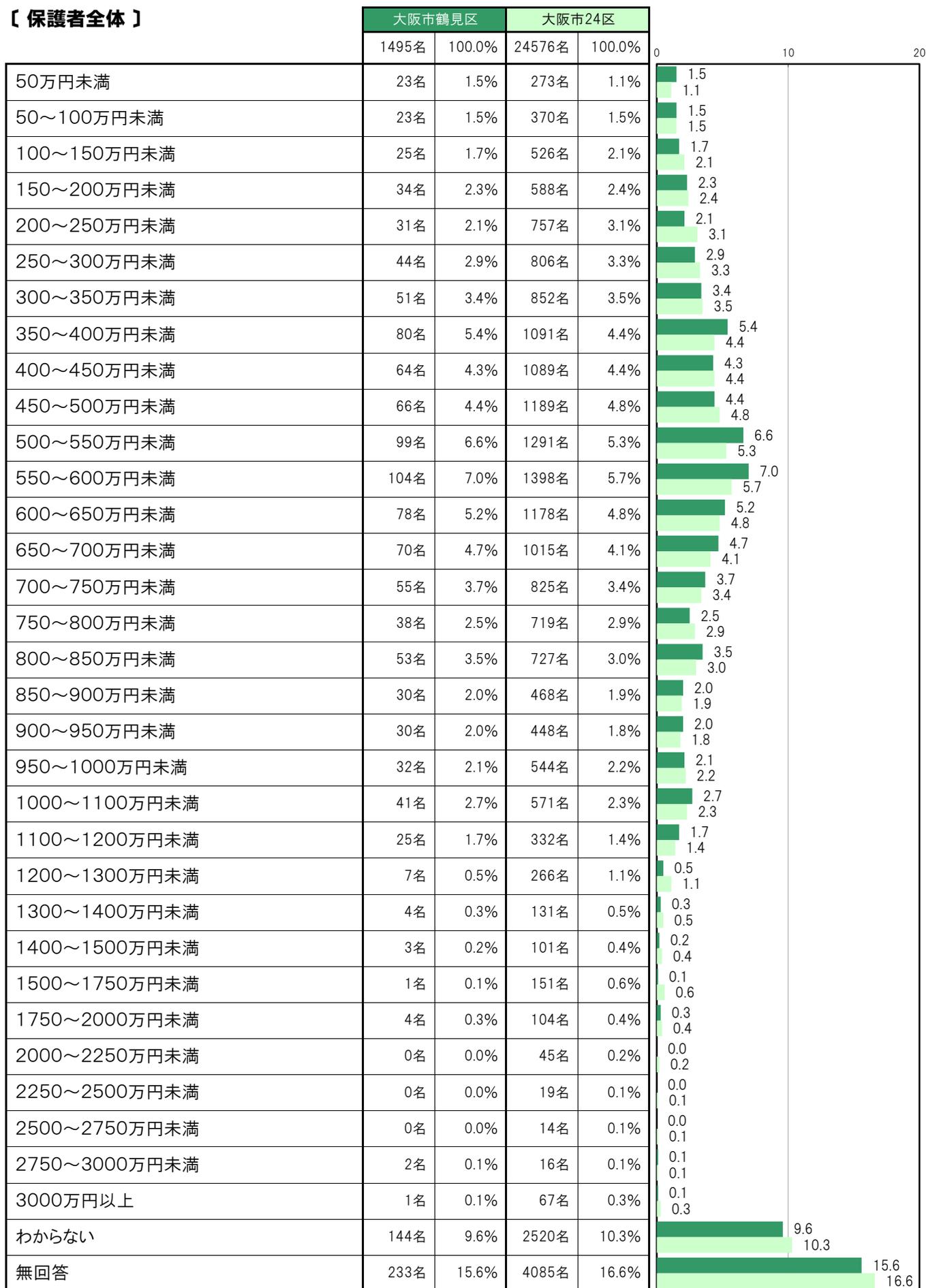
大阪市鶴見区〔保護者全体〕では、「550～600万円未満」104名 7.0%、「500～550万円未満」99名 6.6%、「350～400万円未満」80名 5.4%、「600～650万円未満」78名 5.2%、「650～700万円未満」70名 4.7%の順に高くなっている。

大阪市鶴見区〔小学生保護者〕では、「500～550万円未満」47名 6.6%、「550～600万円未満」47名 6.6%、「350～400万円未満」42名 5.9%、「600～650万円未満」40名 5.6%、「650～700万円未満」34名 4.8%の順に高くなっている。

大阪市鶴見区〔中学生保護者〕では、「550～600万円未満」57名 7.2%、「500～550万円未満」52名 6.6%、「350～400万円未満」38名 4.8%、「600～650万円未満」38名 4.8%、「450～500万円未満」37名 4.7%の順に高くなっている。

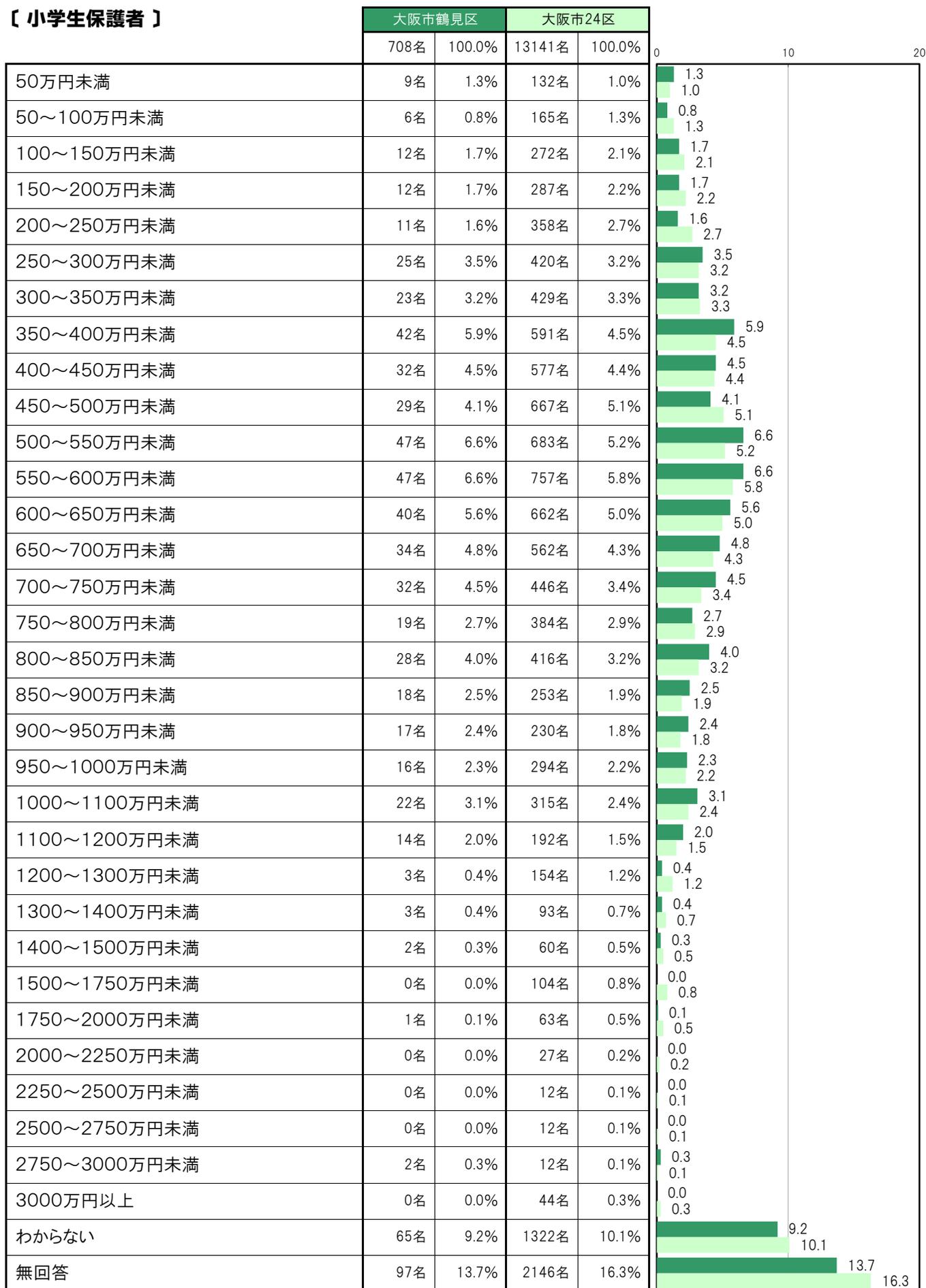
A-4-1.2022年の世帯収入合計額(手取り額)【保護者 問26】

【保護者全体】



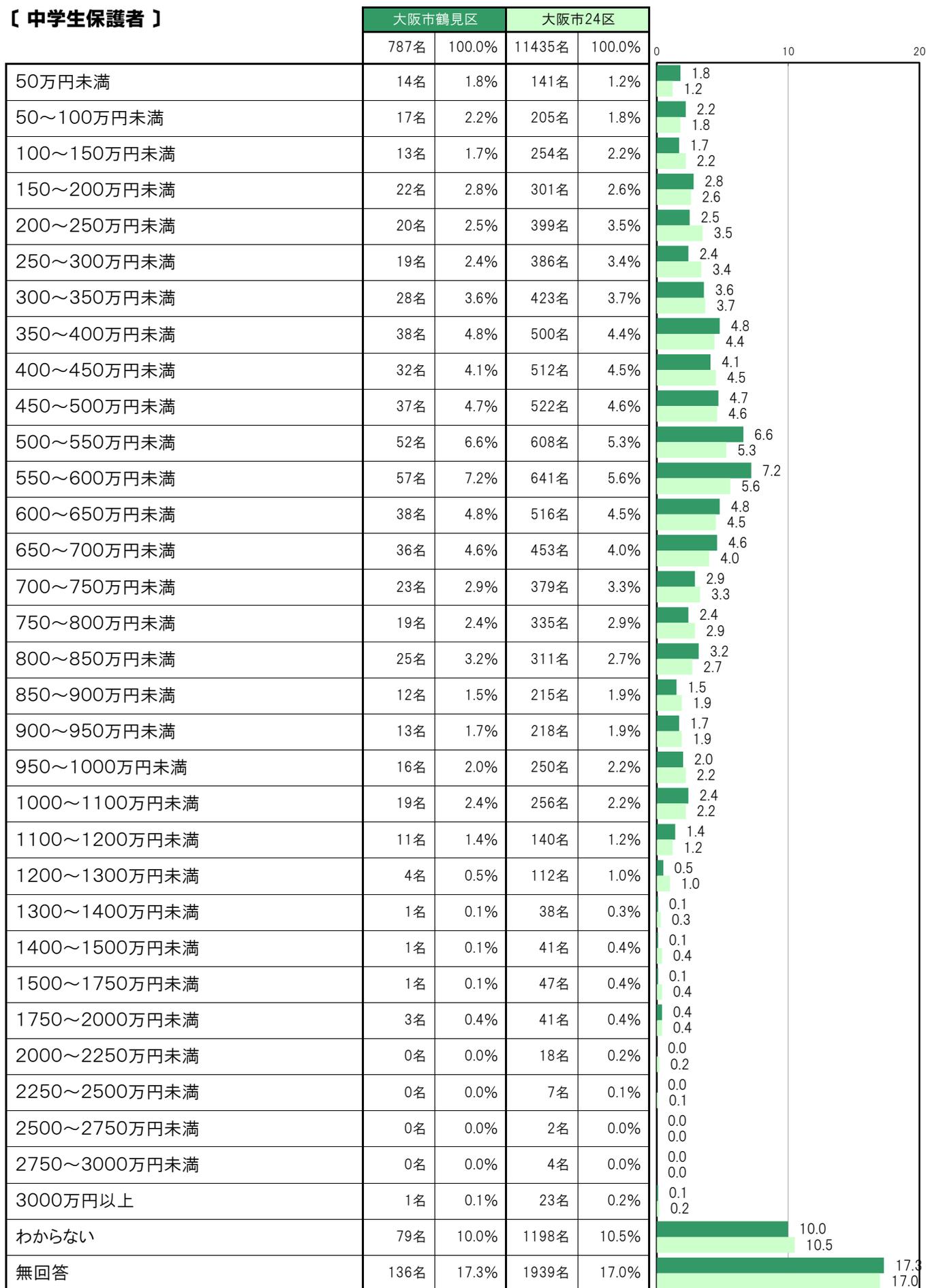
A-4-2.2022年の世帯収入合計額(手取り額)【保護者 問26】

【小学生保護者】



A-4-3.2022年の世帯収入合計額(手取り額)【保護者 問26】

【中学生保護者】



A-4.2016年の世帯収入合計額(手取り額) ※2016年調査結果

収入は給料だけでなく、株式配当や副収入を含む合計額とし、税金や社会保険料を除いた手取り額とする。  
また、公的な援助手当や養育費・仕送りを含んだ額とする。

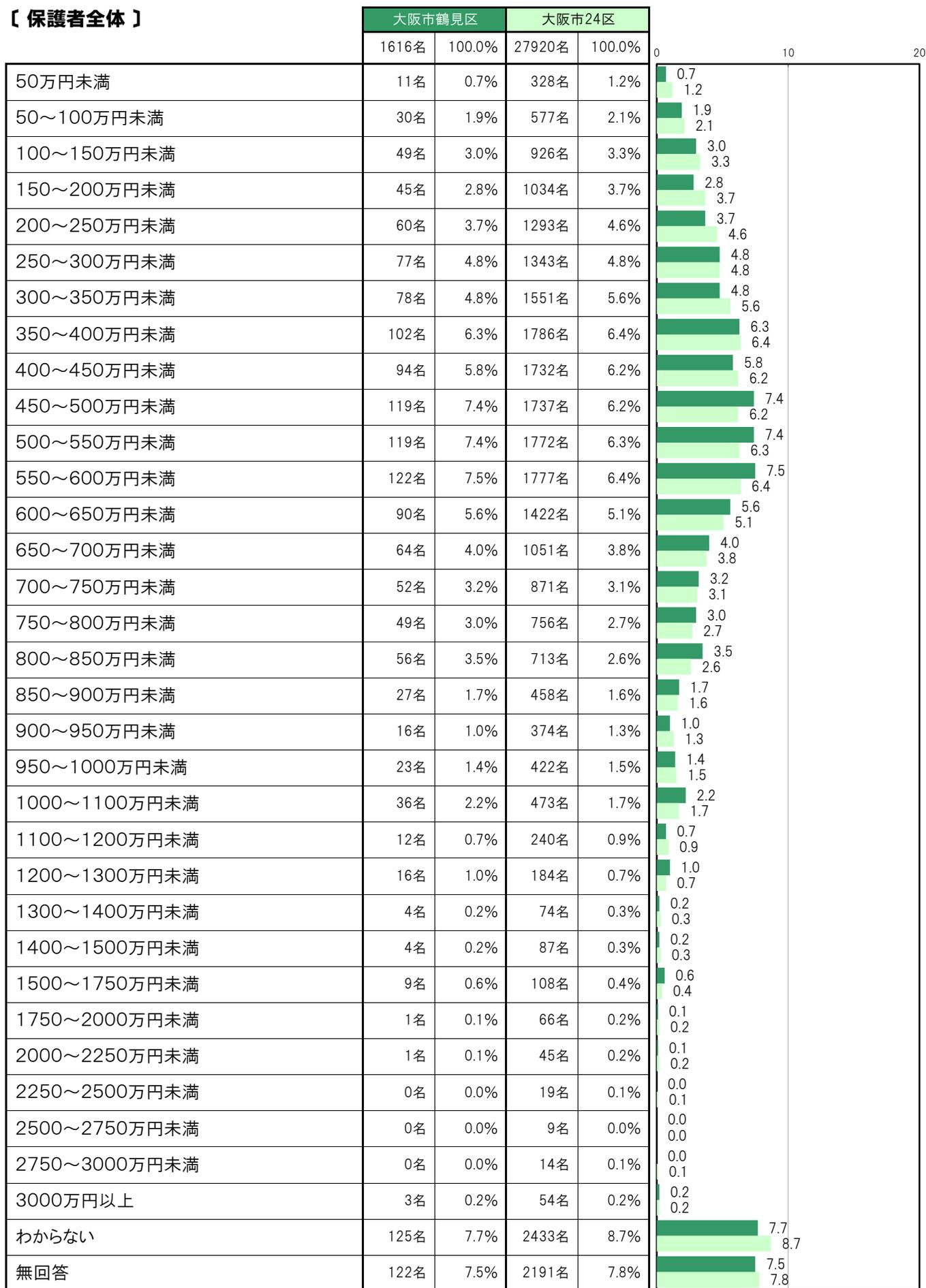
大阪市鶴見区〔保護者全体〕では、「550～600万円未満」122名 7.5%、「450～500万円未満」119名 7.4%、「500～550万円未満」119名 7.4%、「350～400万円未満」102名 6.3%、「400～450万円未満」94名 5.8%の順に高くなっている。

大阪市鶴見区〔小学生保護者〕では、「500～550万円未満」68名 8.1%、「450～500万円未満」66名 7.8%、「500～600万円未満」66名 7.8%、「400～450万円未満」56名 6.7%、「350～400万円未満」51名 6.1%の順に高くなっている。

大阪市鶴見区〔中学生保護者〕では、「550～600万円未満」56名 7.2%、「450～500万円未満」53名 6.8%、「350～400万円未満」51名 6.6%、「500～550万円未満」51名 6.6%、「600～650万円未満」41名 5.3%の順に高くなっている。

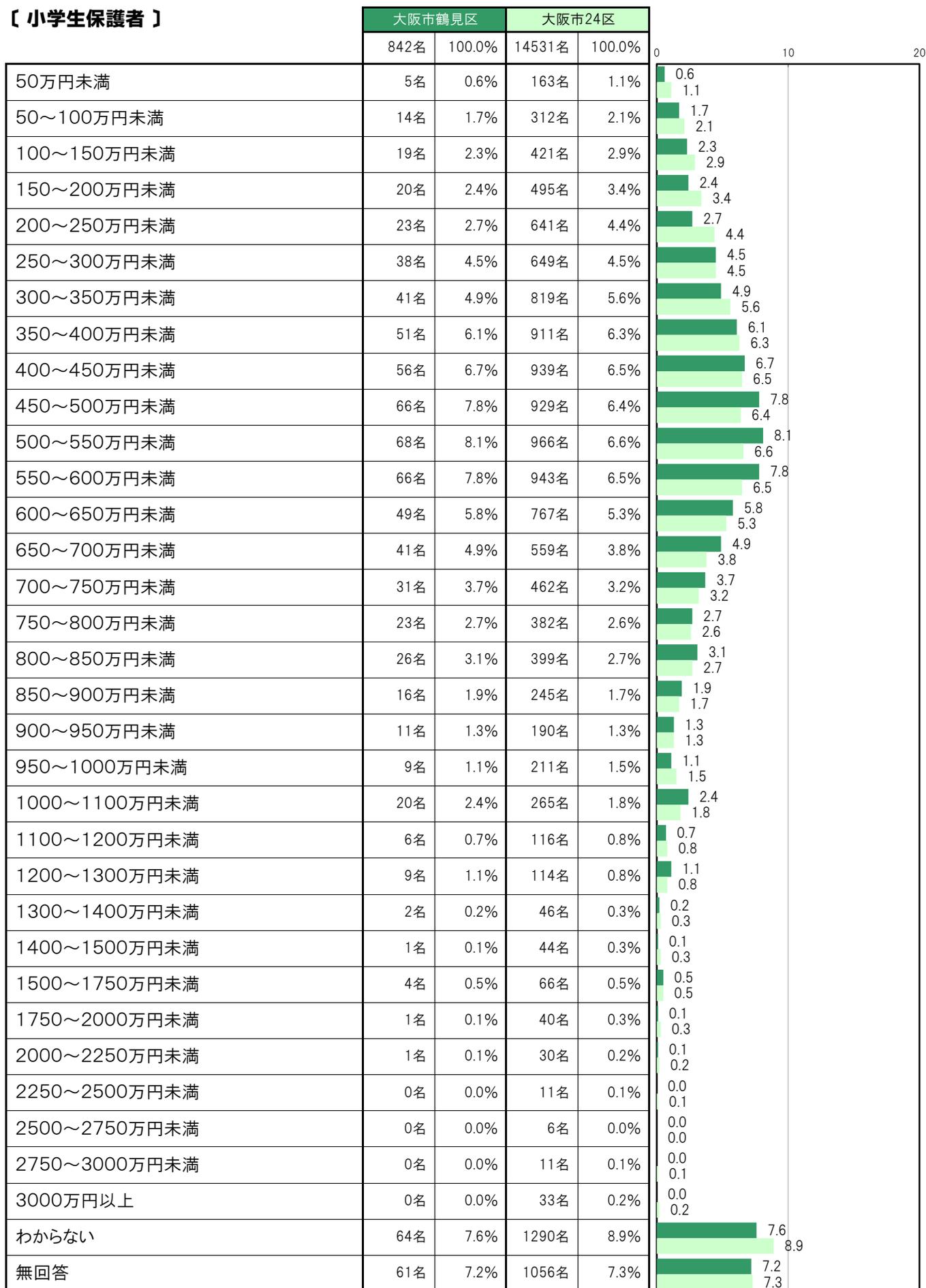
A-4-1.2016年の世帯収入合計額(手取り額) ※2016年調査結果

〔保護者全体〕



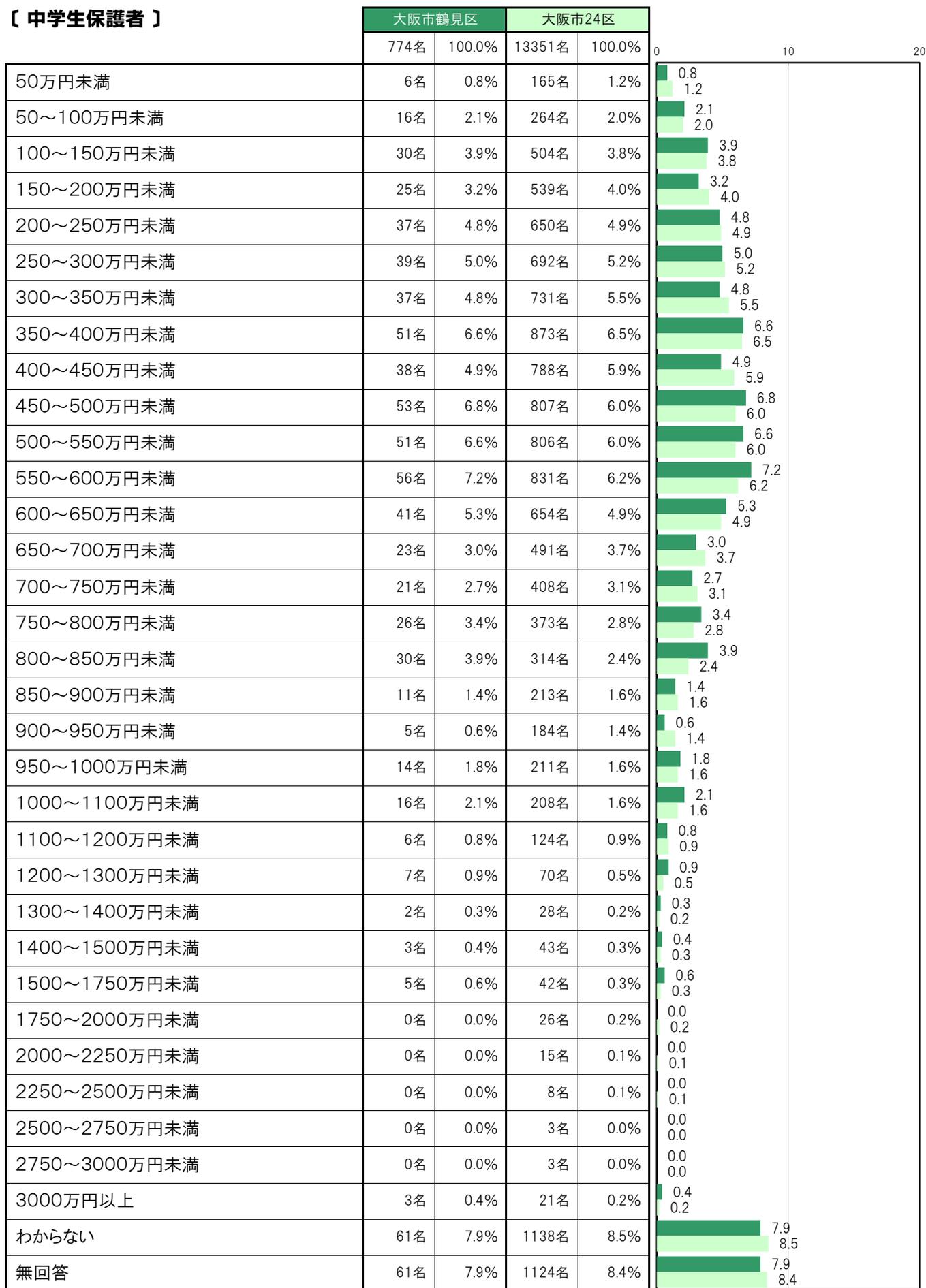
A-4-2.2016年の世帯収入合計額(手取り額) ※2016年調査結果

〔小学生保護者〕



A-4-3.2016年の世帯収入合計額(手取り額) ※2016年調査結果

〔中学生保護者〕



**A-5-1.世帯収入額と世帯人数に基づく等価可処分所得**

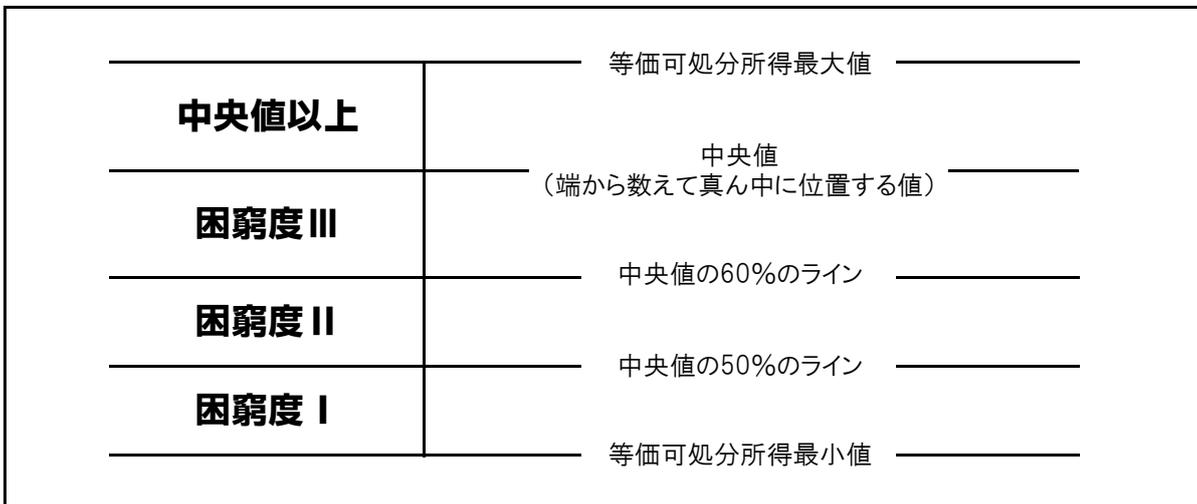
今回の調査において世帯所得をたずねているが、この回答のみで世帯の困窮の状態を測ることはできない。実際の生活上の体験や困りごとを把握するため、多面的に貧困を測る指標として、「等価可処分所得」およびそれらを基に区分した「困窮度」を用いている。

国民生活基礎調査における相対的貧困率は、一定基準（貧困線）を下回る等価可処分所得しか得ていない者の割合をいう。貧困線とは、等価可処分所得（世帯の可処分所得（収入から税金・社会保険料等を除いたいわゆる手取り収入）を世帯人員の平方根で割って調整した所得）の中央値の半分の額をいう。算出方法は、OECD（経済協力開発機構）の作成基準に基づく。EU、ユニセフ（ただし、常に60%基準採用ではない）は60%を採用している。

世帯の可処分所得はその世帯の世帯人員数に影響されるので、世帯人員数で調整する必要がある。最も簡単なのは「世帯の可処分所得÷世帯人員数」とすることであるが、生活水準を考えた場合、世帯人員数が少ない方が生活コストが割高になることを考慮する必要があるため、世帯人員数の違いを調整するにあたって「世帯人員数の平方根」を用いている。

出典：厚生労働省 <http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/dl/20-21a-01.pdf>

**困窮度の分類と基準**

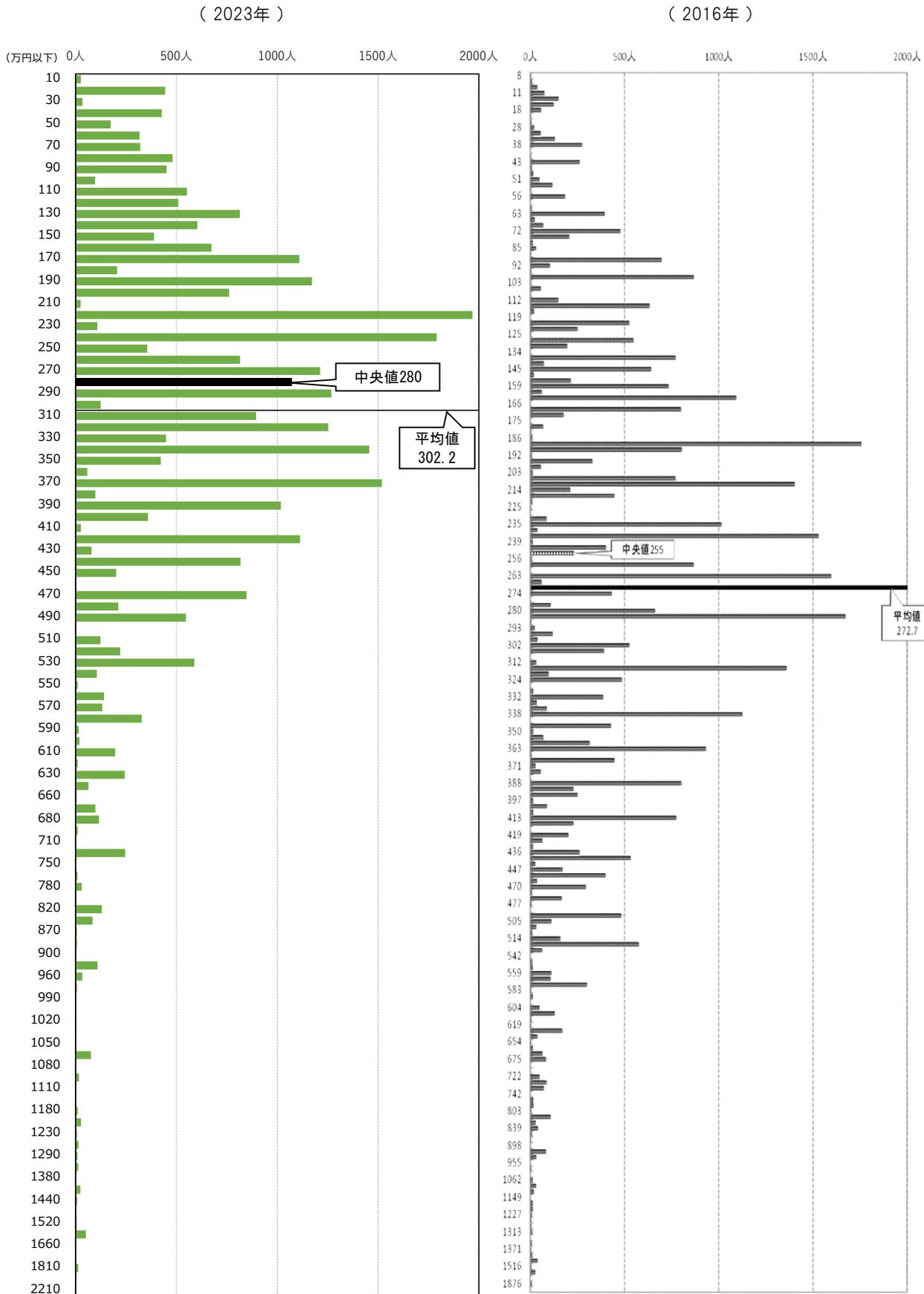


**A-5-2.等価可処分所得に基づく困窮度の分類／大阪市困窮度別人数**

大阪市の中央値は265万円、国の定める基準で行くと相対的貧困率は15.0%であった。なお、大阪府内全自治体における相対的貧困率は15.9%であった。



A-5-3. 大阪府内全自治体における等価可処分所得の分布



注)2023年度調査ではグラフ作成方法を改訂している。

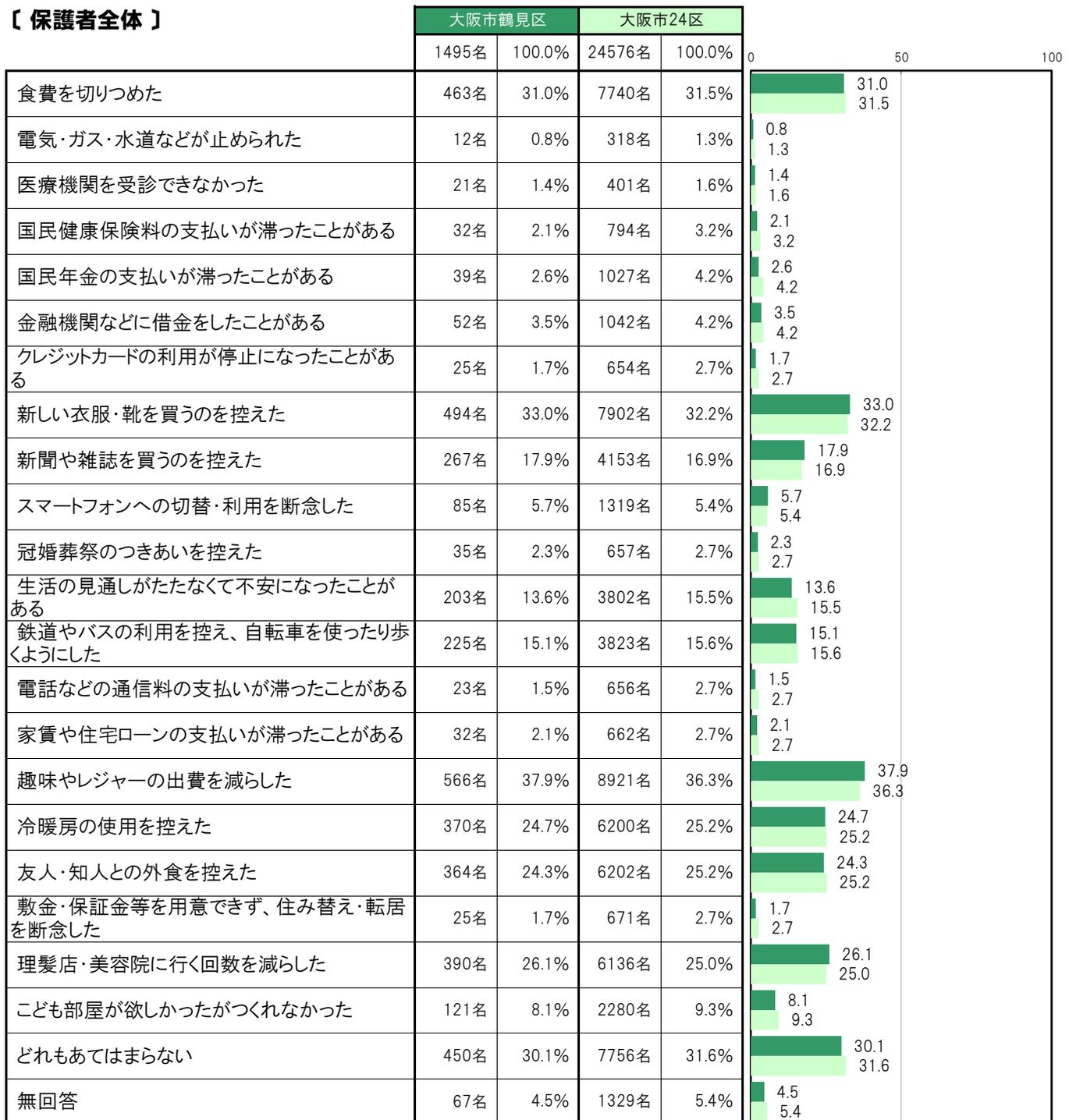
A-6. 経済的な理由で経験したこと／世帯関連〔保護者 問8〕

大阪市鶴見区〔保護者全体〕では、「趣味やレジャーの出費を減らした」566名 37.9%、「新しい衣服・靴を買うのを控えた」494名 33.0%、「食費を切りつめた」463名 31.0%、「どれもあてはまらない」450名 30.1%、「理髪店・美容院に行く回数を減らした」390名 26.1%の順に高くなっている。

大阪市鶴見区〔小学生保護者〕では、「趣味やレジャーの出費を減らした」262名 37.0%、「新しい衣服・靴を買うのを控えた」228名 32.2%、「どれもあてはまらない」216名 30.5%、「食費を切りつめた」203名 28.7%、「理髪店・美容院に行く回数を減らした」170名 24.0%の順に高くなっている。

大阪市鶴見区〔中学生保護者〕では、「趣味やレジャーの出費を減らした」304名 38.6%、「新しい衣服・靴を買うのを控えた」266名 33.8%、「食費を切りつめた」260名 33.0%、「どれもあてはまらない」234名 29.7%、「理髪店・美容院に行く回数を減らした」220名 28.0%の順に高くなっている。

〔保護者全体〕



〔小学生保護者〕

	大阪市鶴見区		大阪市24区		0	50	100
	708名	100.0%	13141名	100.0%			
食費を切りつめた	203名	28.7%	3917名	29.8%	28.7	29.8	
電気・ガス・水道などが止められた	5名	0.7%	146名	1.1%	0.7	1.1	
医療機関を受診できなかった	11名	1.6%	203名	1.5%	1.6	1.5	
国民健康保険料の支払いが滞ったことがある	15名	2.1%	378名	2.9%	2.1	2.9	
国民年金の支払いが滞ったことがある	18名	2.5%	498名	3.8%	2.5	3.8	
金融機関などに借金をしたことがある	25名	3.5%	488名	3.7%	3.5	3.7	
クレジットカードの利用が停止になったことがある	14名	2.0%	325名	2.5%	2.0	2.5	
新しい衣服・靴を買うのを控えた	228名	32.2%	4073名	31.0%	32.2	31.0	
新聞や雑誌を買うのを控えた	114名	16.1%	2040名	15.5%	16.1	15.5	
スマートフォンへの切替・利用を断念した	34名	4.8%	674名	5.1%	4.8	5.1	
冠婚葬祭のつきあいを控えた	12名	1.7%	306名	2.3%	1.7	2.3	
生活の見通しがたたなくて不安になったことがある	89名	12.6%	1892名	14.4%	12.6	14.4	
鉄道やバスの利用を控え、自転車を使ったり歩くようになった	110名	15.5%	1947名	14.8%	15.5	14.8	
電話などの通信料の支払いが滞ったことがある	10名	1.4%	306名	2.3%	1.4	2.3	
家賃や住宅ローンの支払いが滞ったことがある	17名	2.4%	320名	2.4%	2.4	2.4	
趣味やレジャーの出費を減らした	262名	37.0%	4600名	35.0%	37.0	35.0	
冷暖房の使用を控えた	157名	22.2%	3145名	23.9%	22.2	23.9	
友人・知人との外食を控えた	160名	22.6%	3195名	24.3%	22.6	24.3	
敷金・保証金等を用意できず、住み替え・転居を断念した	14名	2.0%	323名	2.5%	2.0	2.5	
理髪店・美容院に行く回数を減らした	170名	24.0%	3209名	24.4%	24.0	24.4	
子ども部屋が欲しかったがとくれなかった	61名	8.6%	1228名	9.3%	8.6	9.3	
どれもあてはまらない	216名	30.5%	4359名	33.2%	30.5	33.2	
無回答	35名	4.9%	710名	5.4%	4.9	5.4	

〔中学生保護者〕

	大阪市鶴見区		大阪市24区		0	50	100
	787名	100.0%	11435名	100.0%			
食費を切りつめた	260名	33.0%	3823名	33.4%	33.0	33.4	
電気・ガス・水道などが止められた	7名	0.9%	172名	1.5%	0.9	1.5	
医療機関を受診できなかった	10名	1.3%	198名	1.7%	1.3	1.7	
国民健康保険料の支払いが滞ったことがある	17名	2.2%	416名	3.6%	2.2	3.6	
国民年金の支払いが滞ったことがある	21名	2.7%	529名	4.6%	2.7	4.6	
金融機関などに借金をしたことがある	27名	3.4%	554名	4.8%	3.4	4.8	
クレジットカードの利用が停止になったことがある	11名	1.4%	329名	2.9%	1.4	2.9	
新しい衣服・靴を買うのを控えた	266名	33.8%	3829名	33.5%	33.8	33.5	
新聞や雑誌を買うのを控えた	153名	19.4%	2113名	18.5%	19.4	18.5	
スマートフォンへの切替・利用を断念した	51名	6.5%	645名	5.6%	6.5	5.6	
冠婚葬祭のつきあいを控えた	23名	2.9%	351名	3.1%	2.9	3.1	
生活の見通しがたたなくて不安になったことがある	114名	14.5%	1910名	16.7%	14.5	16.7	
鉄道やバスの利用を控え、自転車を使ったり歩くようになった	115名	14.6%	1876名	16.4%	14.6	16.4	
電話などの通信料の支払いが滞ったことがある	13名	1.7%	350名	3.1%	1.7	3.1	
家賃や住宅ローンの支払いが滞ったことがある	15名	1.9%	342名	3.0%	1.9	3.0	
趣味やレジャーの出費を減らした	304名	38.6%	4321名	37.8%	38.6	37.8	
冷暖房の使用を控えた	213名	27.1%	3055名	26.7%	27.1	26.7	
友人・知人との外食を控えた	204名	25.9%	3007名	26.3%	25.9	26.3	
敷金・保証金等を用意できず、住み替え・転居を断念した	11名	1.4%	348名	3.0%	1.4	3.0	
理髪店・美容院に行く回数を減らした	220名	28.0%	2927名	25.6%	28.0	25.6	
子ども部屋が欲しかったがとくれなかった	60名	7.6%	1052名	9.2%	7.6	9.2	
どれもあてはまらない	234名	29.7%	3397名	29.7%	29.7	29.7	
無回答	32名	4.1%	619名	5.4%	4.1	5.4	

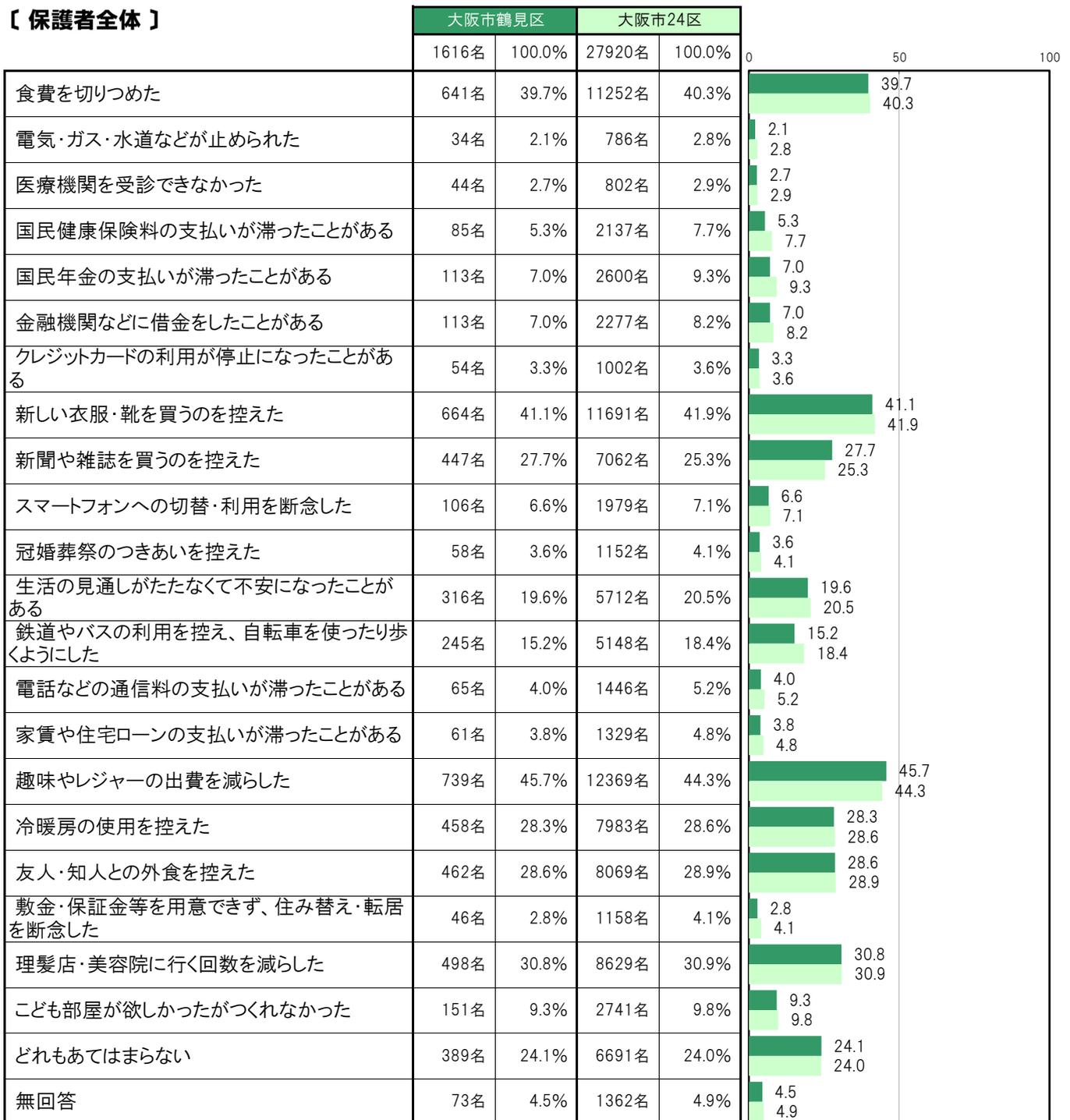
A-6. 経済的な理由で経験したこと／世帯関連 ※2016年調査結果

大阪市鶴見区〔保護者全体〕では、「趣味やレジャーの出費を減らした」739名 45.7%、「新しい衣服・靴を買うのを控えた」664名 41.1%、「食費を切りつめた」641名 39.7%、「理髪店・美容院に行く回数を減らした」498名 30.8%、「友人・知人との外食を控えた」462名 28.6%の順に高くなっている。

大阪市鶴見区〔小学生保護者〕では、「趣味やレジャーの出費を減らした」363名 43.1%、「新しい衣服・靴を買うのを控えた」320名 38.0%、「食費を切りつめた」305名 36.2%、「理髪店・美容院に行く回数を減らした」238名 28.3%、「友人・知人との外食を控えた」229名 27.2%の順に高くなっている。

大阪市鶴見区〔中学生保護者〕では、「趣味やレジャーの出費を減らした」376名 48.6%、「新しい衣服・靴を買うのを控えた」344名 44.4%、「食費を切りつめた」336名 43.4%、「理髪店・美容院に行く回数を減らした」260名 33.6%、「冷暖房の使用を控えた」250名 32.3%の順に高くなっている。

〔保護者全体〕



【小学生保護者】

	大阪市鶴見区		大阪市24区		0	50	100
	842名	100.0%	14531名	100.0%			
食費を切りつめた	305名	36.2%	5554名	38.2%	36.2	38.2	
電気・ガス・水道などが止められた	17名	2.0%	392名	2.7%	2.0	2.7	
医療機関を受診できなかった	14名	1.7%	371名	2.6%	1.7	2.6	
国民健康保険料の支払いが滞ったことがある	37名	4.4%	1030名	7.1%	4.4	7.1	
国民年金の支払いが滞ったことがある	52名	6.2%	1286名	8.9%	6.2	8.9	
金融機関などに借金をしたことがある	44名	5.2%	1063名	7.3%	5.2	7.3	
クレジットカードの利用が停止になったことがある	20名	2.4%	511名	3.5%	2.4	3.5	
新しい衣服・靴を買うのを控えた	320名	38.0%	5843名	40.2%	38.0	40.2	
新聞や雑誌を買うのを控えた	227名	27.0%	3560名	24.5%	27.0	24.5	
スマートフォンへの切替・利用を断念した	50名	5.9%	939名	6.5%	5.9	6.5	
冠婚葬祭のつきあいを控えた	25名	3.0%	554名	3.8%	3.0	3.8	
生活の見通しがたたなくて不安になったことがある	159名	18.9%	2796名	19.2%	18.9	19.2	
鉄道やバスの利用を控え、自転車を使ったり歩くようになった	99名	11.8%	2517名	17.3%	11.8	17.3	
電話などの通信料の支払いが滞ったことがある	28名	3.3%	680名	4.7%	3.3	4.7	
家賃や住宅ローンの支払いが滞ったことがある	26名	3.1%	651名	4.5%	3.1	4.5	
趣味やレジャーの出費を減らした	363名	43.1%	6155名	42.4%	43.1	42.4	
冷暖房の使用を控えた	208名	24.7%	3952名	27.2%	24.7	27.2	
友人・知人との外食を控えた	229名	27.2%	4076名	28.1%	27.2	28.1	
敷金・保証金等を用意できず、住み替え・転居を断念した	19名	2.3%	562名	3.9%	2.3	3.9	
理髪店・美容院に行く回数を減らした	238名	28.3%	4355名	30.0%	28.3	30.0	
子ども部屋が欲しかったがとくれなかった	74名	8.8%	1346名	9.3%	8.8	9.3	
どれもあてはまらない	222名	26.4%	3738名	25.7%	26.4	25.7	
無回答	41名	4.9%	721名	5.0%	4.9	5.0	

【 中学生保護者 】

	大阪市鶴見区		大阪市24区		0	50	100
	774名	100.0%	13351名	100.0%			
食費を切りつめた	336名	43.4%	5683名	42.6%	43.4	42.6	
電気・ガス・水道などが止められた	17名	2.2%	394名	3.0%	2.2	3.0	
医療機関を受診できなかった	30名	3.9%	431名	3.2%	3.9	3.2	
国民健康保険料の支払いが滞ったことがある	48名	6.2%	1103名	8.3%	6.2	8.3	
国民年金の支払いが滞ったことがある	61名	7.9%	1312名	9.8%	7.9	9.8	
金融機関などに借金をしたことがある	69名	8.9%	1211名	9.1%	8.9	9.1	
クレジットカードの利用が停止になったことがある	34名	4.4%	491名	3.7%	4.4	3.7	
新しい衣服・靴を買うのを控えた	344名	44.4%	5830名	43.7%	44.4	43.7	
新聞や雑誌を買うのを控えた	220名	28.4%	3492名	26.2%	28.4	26.2	
スマートフォンへの切替・利用を断念した	56名	7.2%	1036名	7.8%	7.2	7.8	
冠婚葬祭のつきあいを控えた	33名	4.3%	597名	4.5%	4.3	4.5	
生活の見通しがたたなくて不安になったことがある	157名	20.3%	2903名	21.7%	20.3	21.7	
鉄道やバスの利用を控え、自転車を使ったり歩くようにした	146名	18.9%	2621名	19.6%	18.9	19.6	
電話などの通信料の支払いが滞ったことがある	37名	4.8%	766名	5.7%	4.8	5.7	
家賃や住宅ローンの支払いが滞ったことがある	35名	4.5%	677名	5.1%	4.5	5.1	
趣味やレジャーの出費を減らした	376名	48.6%	6197名	46.4%	48.6	46.4	
冷暖房の使用を控えた	250名	32.3%	4024名	30.1%	32.3	30.1	
友人・知人との外食を控えた	233名	30.1%	3979名	29.8%	30.1	29.8	
敷金・保証金等を用意できず、住み替え・転居を断念した	27名	3.5%	595名	4.5%	3.5	4.5	
理髪店・美容院に行く回数を減らした	260名	33.6%	4264名	31.9%	33.6	31.9	
子ども部屋が欲しかったがとくれなかった	77名	9.9%	1395名	10.4%	9.9	10.4	
どれもあてはまらない	167名	21.6%	2944名	22.1%	21.6	22.1	
無回答	32名	4.1%	636名	4.8%	4.1	4.8	

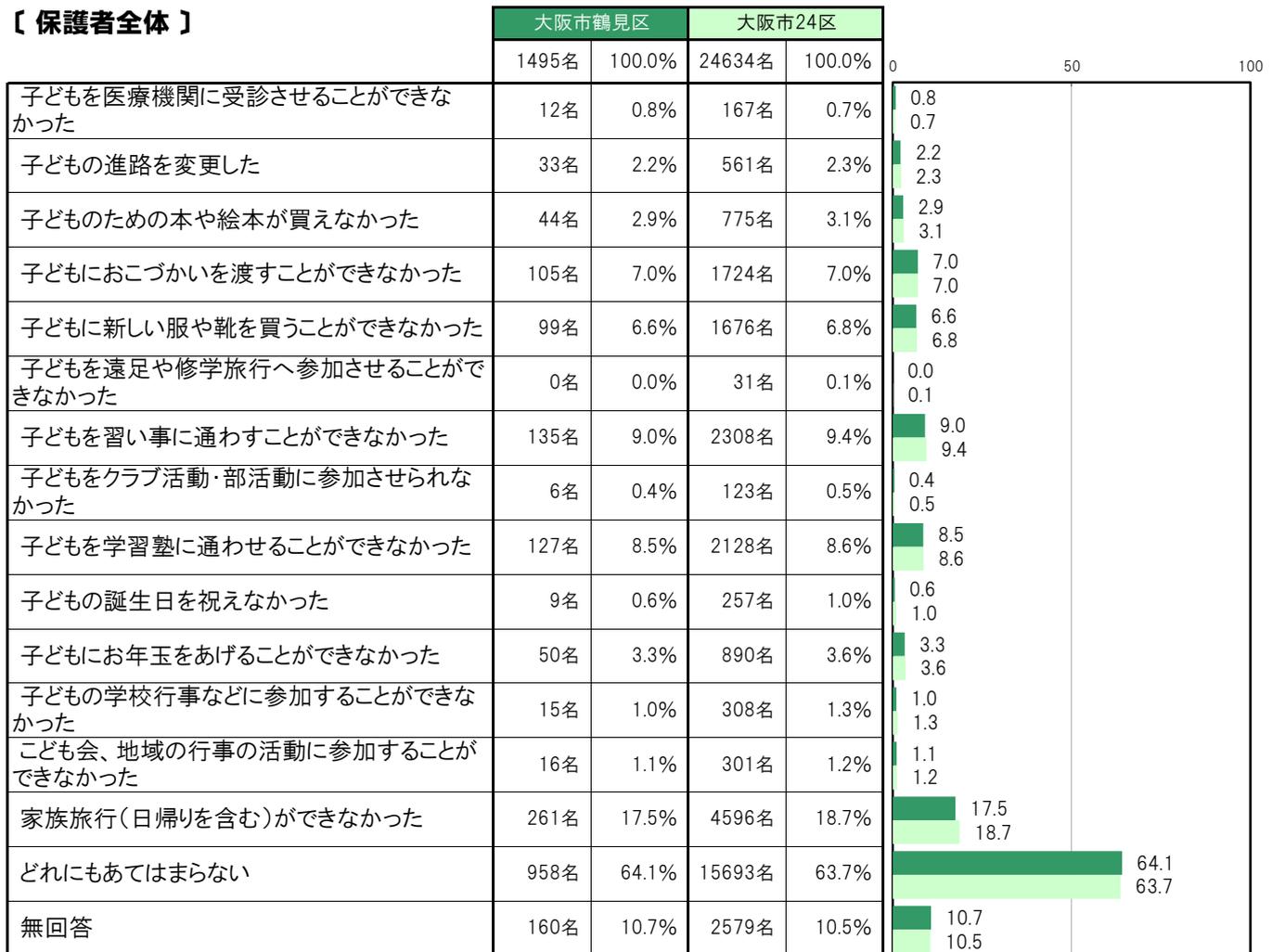
A-7. 経済的な理由で経験したこと／子ども関連【保護者 問13】

大阪市鶴見区〔保護者全体〕では、「どれにもあてはまらない」958名 64.1%、「家族旅行(日帰りを含む)ができなかった」261名 17.5%、「子どもを習い事に通わすことができなかった」135名 9.0%、「子どもを学習塾に通わせることができなかった」127名 8.5%、「子どもにおこづかいを渡すことができなかった」105名 7.0%の順に高くなっている。

大阪市鶴見区〔小学生保護者〕では、「どれにもあてはまらない」464名 65.5%、「家族旅行(日帰りを含む)ができなかった」112名 15.8%、「子どもを習い事に通わすことができなかった」54名 7.6%、「子どもを学習塾に通わせることができなかった」54名 7.6%、「子どもに新しい服や靴を買うことができなかった」40名 5.6%の順に高くなっている。

大阪市鶴見区〔中学生保護者〕では、「どれにもあてはまらない」494名 62.8%、「家族旅行(日帰りを含む)ができなかった」149名 18.9%、「子どもを習い事に通わすことができなかった」81名 10.3%、「子どもを学習塾に通わせることができなかった」73名 9.3%、「子どもにおこづかいを渡すことができなかった」69名 8.8%の順に高くなっている。

【保護者全体】



〔小学生保護者〕

	大阪市鶴見区		大阪市24区		0	50	100
	708名	100.0%	13174名	100.0%			
子どもを医療機関に受診させることができなかった	6名	0.8%	84名	0.6%	0.8	0.6	
子どもの進路を変更した	17名	2.4%	281名	2.1%	2.4	2.1	
子どものための本や絵本が買えなかった	25名	3.5%	423名	3.2%	3.5	3.2	
子どもにおこづかいを渡すことができなかった	36名	5.1%	793名	6.0%	5.1	6.0	
子どもに新しい服や靴を買うことができなかった	40名	5.6%	776名	5.9%	5.6	5.9	
子どもを遠足や修学旅行へ参加させることができなかった	0名	0.0%	18名	0.1%	0.0	0.1	
子どもを習い事に通わすことができなかった	54名	7.6%	1181名	9.0%	7.6	9.0	
子どもをクラブ活動・部活動に参加させられなかった	4名	0.6%	62名	0.5%	0.6	0.5	
子どもを学習塾に通わせることができなかった	54名	7.6%	1047名	7.9%	7.6	7.9	
子どもの誕生日を祝えなかった	3名	0.4%	117名	0.9%	0.4	0.9	
子どもにお年玉をあげることができなかった	18名	2.5%	429名	3.3%	2.5	3.3	
子どもの学校行事などに参加することができなかった	5名	0.7%	142名	1.1%	0.7	1.1	
こども会、地域の行事の活動に参加することができなかった	10名	1.4%	147名	1.1%	1.4	1.1	
家族旅行(日帰りを含む)ができなかった	112名	15.8%	2204名	16.7%	15.8	16.7	
どれにもあてはまらない	464名	65.5%	8686名	65.9%	65.5	65.9	
無回答	75名	10.6%	1370名	10.4%	10.6	10.4	

【 中学生保護者 】

	大阪市鶴見区		大阪市24区		0	50	100
	787名	100.0%	11460名	100.0%			
子どもを医療機関に受診させることができなかった	6名	0.8%	83名	0.7%	0.8	0.7	
子どもの進路を変更した	16名	2.0%	280名	2.4%	2.0	2.4	
子どものための本や絵本が買えなかった	19名	2.4%	352名	3.1%	2.4	3.1	
子どもにおこづかいを渡すことができなかった	69名	8.8%	931名	8.1%	8.8	8.1	
子どもに新しい服や靴を買うことができなかった	59名	7.5%	900名	7.9%	7.5	7.9	
子どもを遠足や修学旅行へ参加させることができなかった	0名	0.0%	13名	0.1%	0.0	0.1	
子どもを習い事に通わすことができなかった	81名	10.3%	1127名	9.8%	10.3	9.8	
子どもをクラブ活動・部活動に参加させられなかった	2名	0.3%	61名	0.5%	0.3	0.5	
子どもを学習塾に通わせることができなかった	73名	9.3%	1081名	9.4%	9.3	9.4	
子どもの誕生日を祝えなかった	6名	0.8%	140名	1.2%	0.8	1.2	
子どもにお年玉をあげることができなかった	32名	4.1%	461名	4.0%	4.1	4.0	
子どもの学校行事などに参加することができなかった	10名	1.3%	166名	1.4%	1.3	1.4	
こども会、地域の行事の活動に参加することができなかった	6名	0.8%	154名	1.3%	0.8	1.3	
家族旅行(日帰りを含む)ができなかった	149名	18.9%	2392名	20.9%	18.9	20.9	
どれにもあてはまらない	494名	62.8%	7007名	61.1%	62.8	61.1	
無回答	85名	10.8%	1209名	10.5%	10.8	10.5	

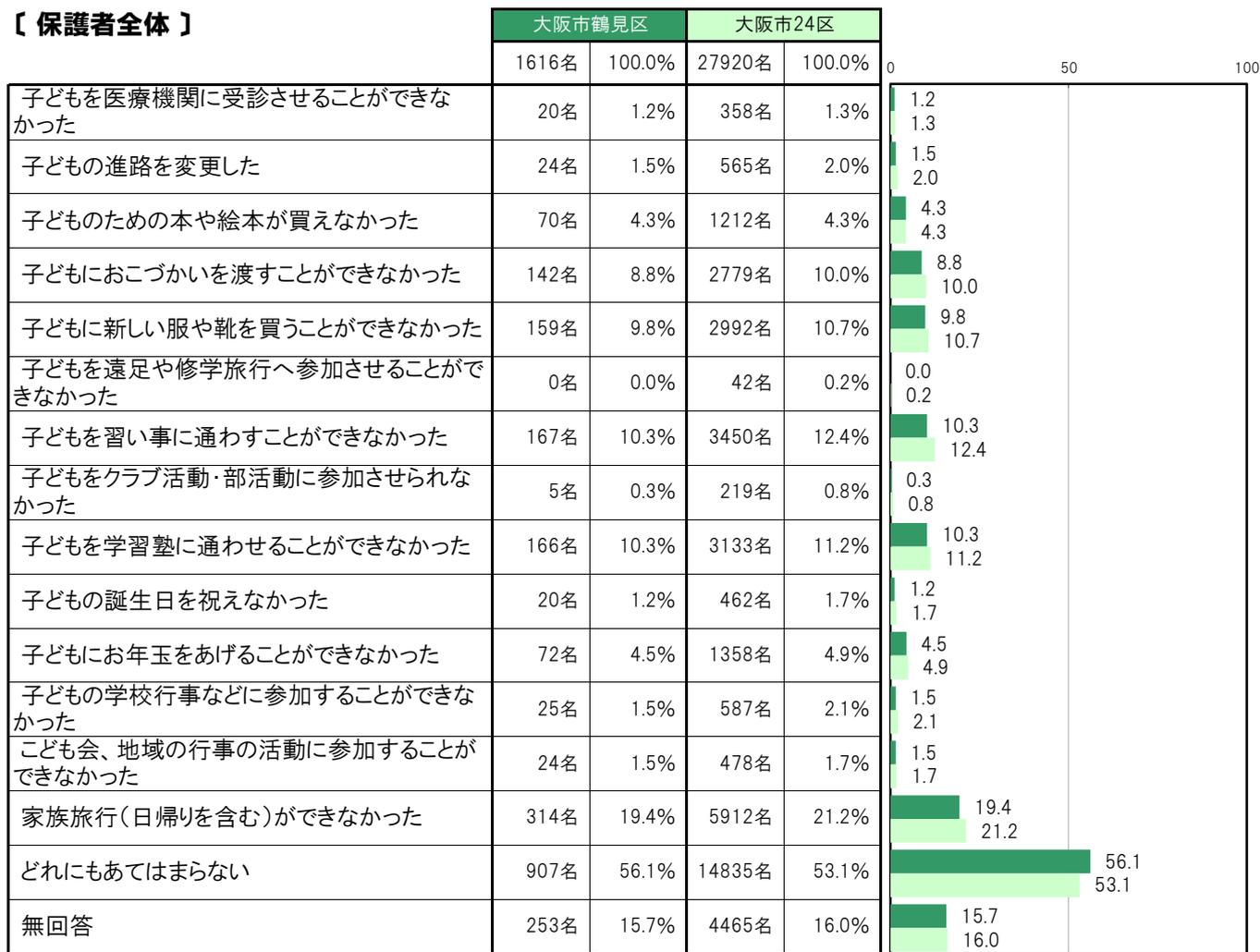
A-7. 経済的な理由で経験したこと／子ども関連 ※2016年調査結果

大阪市鶴見区〔保護者全体〕では、「どれにもあてはまらない」907名 56.1%、「家族旅行(日帰りを含む)ができなかった」314名 19.4%、「子どもを習い事に通わすことができなかった」167名 10.3%、「子どもを学習塾に通わせることができなかった」166名 10.3%、「子どもに新しい服や靴を買うことができなかった」159名 9.8%の順に高くなっている。

大阪市鶴見区〔小学生保護者〕では、「どれにもあてはまらない」496名 58.9%、「家族旅行(日帰りを含む)ができなかった」143名 17.0%、「子どもを習い事に通わすことができなかった」88名 10.5%、「子どもを学習塾に通わせることができなかった」78名 9.3%、「子どもに新しい服や靴を買うことができなかった」72名 8.6%の順に高くなっている。

大阪市鶴見区〔中学生保護者〕では、「どれにもあてはまらない」411名 53.1%、「家族旅行(日帰りを含む)ができなかった」171名 22.1%、「子どもにおこづかいを渡すことができなかった」88名 11.4%、「子どもを学習塾に通わせることができなかった」88名 11.4%、「子どもに新しい服や靴を買うことができなかった」87名 11.2%の順に高くなっている。

〔保護者全体〕



〔小学生保護者〕

	大阪市鶴見区		大阪市24区		0	50	100
	842名	100.0%	14531名	100.0%			
子どもを医療機関に受診させることができなかった	5名	0.6%	151名	1.0%	0.6	1.0	
子どもの進路を変更した	9名	1.1%	246名	1.7%	1.1	1.7	
子どものための本や絵本が買えなかった	36名	4.3%	681名	4.7%	4.3	4.7	
子どもにおこづかいを渡すことができなかった	54名	6.4%	1214名	8.4%	6.4	8.4	
子どもに新しい服や靴を買うことができなかった	72名	8.6%	1420名	9.8%	8.6	9.8	
子どもを遠足や修学旅行へ参加させることができなかった	0名	0.0%	22名	0.2%	0.0	0.2	
子どもを習い事に通わすことができなかった	88名	10.5%	1767名	12.2%	10.5	12.2	
子どもをクラブ活動・部活動に参加させられなかった	1名	0.1%	105名	0.7%	0.1	0.7	
子どもを学習塾に通わせることができなかった	78名	9.3%	1541名	10.6%	9.3	10.6	
子どもの誕生日を祝えなかった	6名	0.7%	180名	1.2%	0.7	1.2	
子どもにお年玉をあげることができなかった	32名	3.8%	604名	4.2%	3.8	4.2	
子どもの学校行事などに参加することができなかった	8名	1.0%	252名	1.7%	1.0	1.7	
こども会、地域の行事の活動に参加することができなかった	7名	0.8%	218名	1.5%	0.8	1.5	
家族旅行(日帰りを含む)ができなかった	143名	17.0%	2782名	19.1%	17.0	19.1	
どれにもあてはまらない	496名	58.9%	8074名	55.6%	58.9	55.6	
無回答	128名	15.2%	2294名	15.8%	15.2	15.8	

〔中学生保護者〕

	大阪市鶴見区		大阪市24区		0	50	100
	774名	100.0%	13351名	100.0%			
子どもを医療機関に受診させることができなかった	15名	1.9%	207名	1.6%	1.9	1.6	
子どもの進路を変更した	15名	1.9%	319名	2.4%	1.9	2.4	
子どものための本や絵本が買えなかった	34名	4.4%	528名	4.0%	4.4	4.0	
子どもにおこづかいを渡すことができなかった	88名	11.4%	1563名	11.7%	11.4	11.7	
子どもに新しい服や靴を買うことができなかった	87名	11.2%	1567名	11.7%	11.2	11.7	
子どもを遠足や修学旅行へ参加させることができなかった	0名	0.0%	19名	0.1%	0.0	0.1	
子どもを習い事に通わすことができなかった	79名	10.2%	1680名	12.6%	10.2	12.6	
子どもをクラブ活動・部活動に参加させられなかった	4名	0.5%	114名	0.9%	0.5	0.9	
子どもを学習塾に通わせることができなかった	88名	11.4%	1590名	11.9%	11.4	11.9	
子どもの誕生日を祝えなかった	14名	1.8%	282名	2.1%	1.8	2.1	
子どもにお年玉をあげることができなかった	40名	5.2%	753名	5.6%	5.2	5.6	
子どもの学校行事などに参加することができなかった	17名	2.2%	334名	2.5%	2.2	2.5	
こども会、地域の行事の活動に参加することができなかった	17名	2.2%	260名	1.9%	2.2	1.9	
家族旅行(日帰りを含む)ができなかった	171名	22.1%	3121名	23.4%	22.1	23.4	
どれにもあてはまらない	411名	53.1%	6738名	50.5%	53.1	50.5	
無回答	125名	16.1%	2166名	16.2%	16.1	16.2	

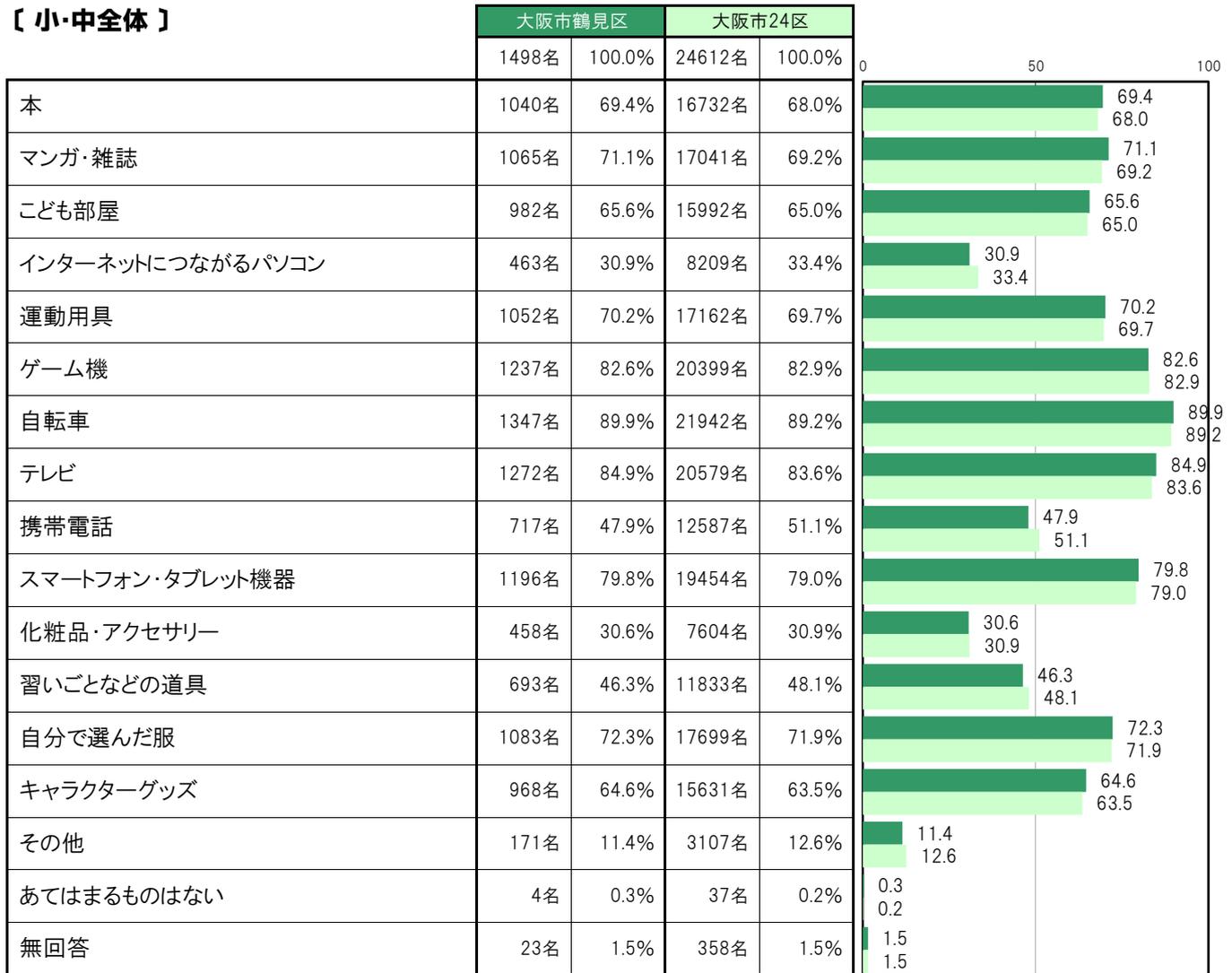
A-8.持っているもの、使うことができるもの【子ども 問24】

大阪市鶴見区〔小・中全体〕では、「自転車」1347名 89.9%、「テレビ」1272名 84.9%、「ゲーム機」1237名 82.6%、「スマートフォン・タブレット機器」1196名 79.8%、「自分で選んだ服」1083名 72.3%の順に高くなっている。

大阪市鶴見区〔小学生〕では、「自転車」627名 88.3%、「テレビ」597名 84.1%、「ゲーム機」596名 83.9%、「運動用具」514名 72.4%、「自分で選んだ服」496名 69.9%の順に高くなっている。

大阪市鶴見区〔中学生〕では、「スマートフォン・タブレット機器」729名 92.5%、「自転車」720名 91.4%、「テレビ」675名 85.7%、「ゲーム機」641名 81.3%、「マンガ・雑誌」596名 75.6%の順に高くなっている。

【小・中全体】



〔小学生〕

	大阪市鶴見区		大阪市24区		0	50	100
	710名	100.0%	13124名	100.0%			
本	494名	69.6%	9149名	69.7%	69.6	69.7	
マンガ・雑誌	469名	66.1%	8550名	65.1%	66.1	65.1	
こども部屋	417名	58.7%	7730名	58.9%	58.7	58.9	
インターネットにつながるパソコン	201名	28.3%	4071名	31.0%	28.3	31.0	
運動用具	514名	72.4%	9243名	70.4%	72.4	70.4	
ゲーム機	596名	83.9%	10957名	83.5%	83.9	83.5	
自転車	627名	88.3%	11610名	88.5%	88.3	88.5	
テレビ	597名	84.1%	10837名	82.6%	84.1	82.6	
携帯電話	313名	44.1%	6444名	49.1%	44.1	49.1	
スマートフォン・タブレット機器	467名	65.8%	9083名	69.2%	65.8	69.2	
化粧品・アクセサリ	180名	25.4%	3441名	26.2%	25.4	26.2	
習いごとなどの道具	393名	55.4%	7237名	55.1%	55.4	55.1	
自分で選んだ服	496名	69.9%	9198名	70.1%	69.9	70.1	
キャラクターグッズ	484名	68.2%	8730名	66.5%	68.2	66.5	
その他	75名	10.6%	1670名	12.7%	10.6	12.7	
あてはまるものはない	3名	0.4%	15名	0.1%	0.4	0.1	
無回答	14名	2.0%	200名	1.5%	2.0	1.5	

〔中学生〕

	大阪市鶴見区		大阪市24区		0	50	100
	788名	100.0%	11488名	100.0%			
本	546名	69.3%	7583名	66.0%	69.3	66.0	
マンガ・雑誌	596名	75.6%	8491名	73.9%	75.6	73.9	
子ども部屋	565名	71.7%	8262名	71.9%	71.7	71.9	
インターネットにつながるパソコン	262名	33.2%	4138名	36.0%	33.2	36.0	
運動用具	538名	68.3%	7919名	68.9%	68.3	68.9	
ゲーム機	641名	81.3%	9442名	82.2%	81.3	82.2	
自転車	720名	91.4%	10332名	89.9%	91.4	89.9	
テレビ	675名	85.7%	9742名	84.8%	85.7	84.8	
携帯電話	404名	51.3%	6143名	53.5%	51.3	53.5	
スマートフォン・タブレット機器	729名	92.5%	10371名	90.3%	92.5	90.3	
化粧品・アクセサリ	278名	35.3%	4163名	36.2%	35.3	36.2	
習いごとなどの道具	300名	38.1%	4596名	40.0%	38.1	40.0	
自分で選んだ服	587名	74.5%	8501名	74.0%	74.5	74.0	
キャラクターグッズ	484名	61.4%	6901名	60.1%	61.4	60.1	
その他	96名	12.2%	1437名	12.5%	12.2	12.5	
あてはまるものはない	1名	0.1%	22名	0.2%	0.1	0.2	
無回答	9名	1.1%	158名	1.4%	1.1	1.4	

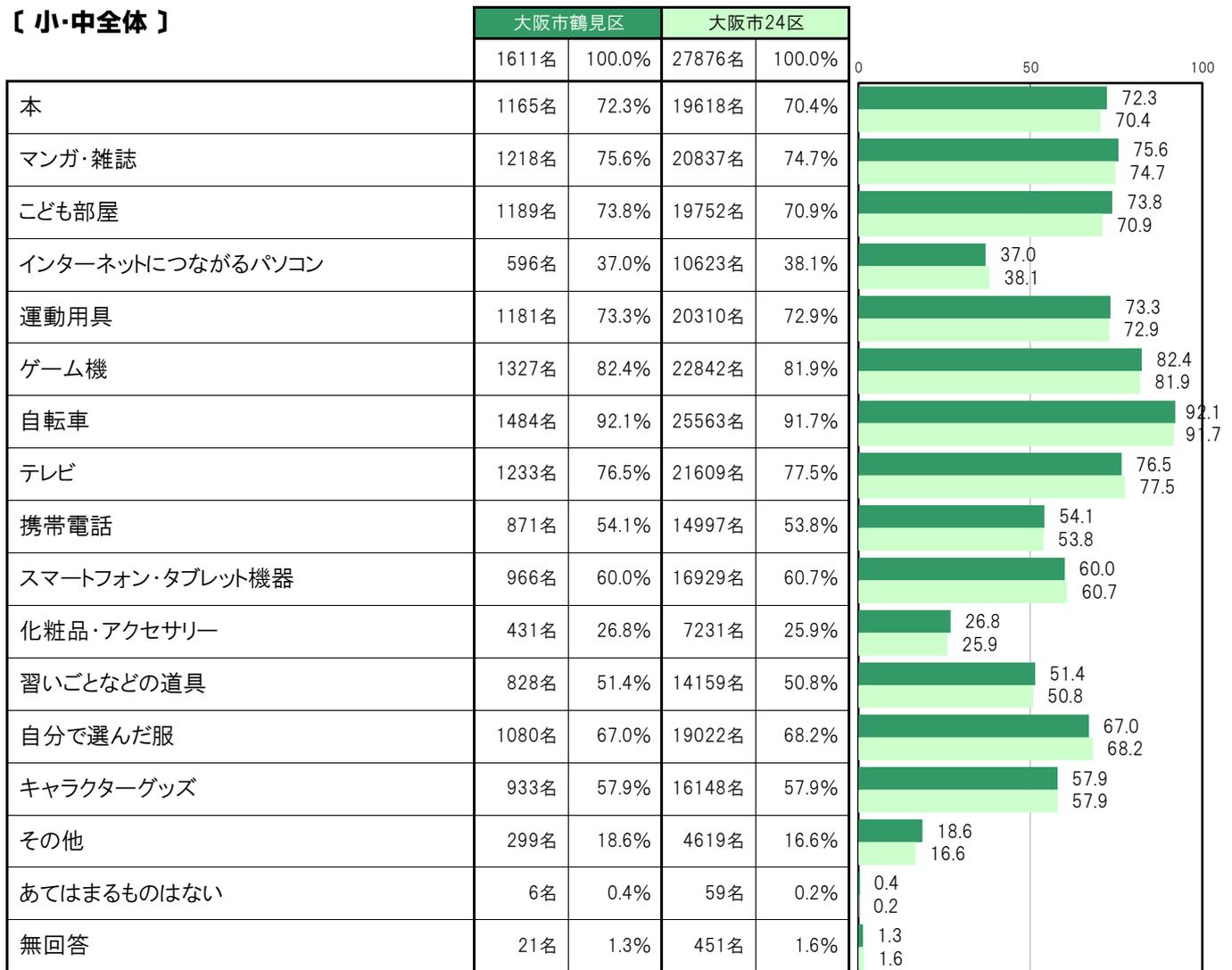
A-8.持っているもの、使うことができるもの ※2016年調査結果

大阪市鶴見区〔小・中全体〕では、「自転車」1484名 92.1%、「ゲーム機」1327名 82.4%、「テレビ」1233名 76.5%、「マンガ・雑誌」1218名 75.6%、「子ども部屋」1189名 73.8%の順に高くなっている。

大阪市鶴見区〔小学生〕では、「自転車」783名 93.3%、「ゲーム機」726名 86.5%、「テレビ」648名 77.2%、「運動用具」639名 76.2%、「本」636名 75.8%の順に高くなっている。

大阪市鶴見区〔中学生〕では、「自転車」701名 90.8%、「子ども部屋」602名 78.0%、「ゲーム機」601名 77.8%、「スマートフォン・タブレット機器」596名 77.2%、「マンガ・雑誌」586名 75.9%の順に高くなっている。

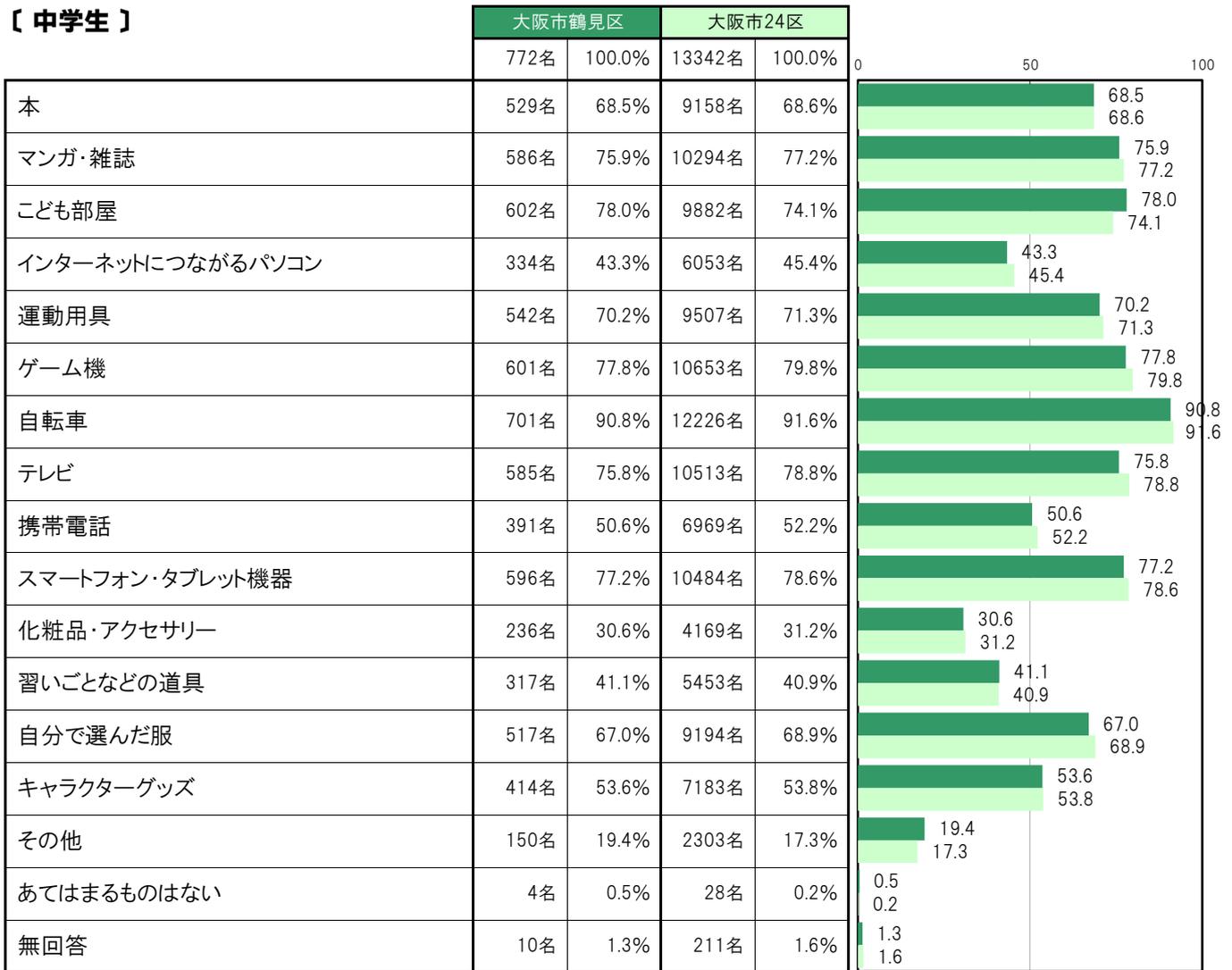
〔小・中全体〕



〔小学生〕

	大阪市鶴見区		大阪市24区		0	50	100
	839名	100.0%	14526名	100.0%			
本	636名	75.8%	10459名	72.0%	75.8	72.0	
マンガ・雑誌	632名	75.3%	10542名	72.6%	75.3	72.6	
こども部屋	587名	70.0%	9867名	67.9%	70.0	67.9	
インターネットにつながるパソコン	262名	31.2%	4569名	31.5%	31.2	31.5	
運動用具	639名	76.2%	10800名	74.3%	76.2	74.3	
ゲーム機	726名	86.5%	12187名	83.9%	86.5	83.9	
自転車	783名	93.3%	13335名	91.8%	93.3	91.8	
テレビ	648名	77.2%	11094名	76.4%	77.2	76.4	
携帯電話	480名	57.2%	8027名	55.3%	57.2	55.3	
スマートフォン・タブレット機器	370名	44.1%	6443名	44.4%	44.1	44.4	
化粧品・アクセサリ	195名	23.2%	3060名	21.1%	23.2	21.1	
習いごとなどの道具	511名	60.9%	8706名	59.9%	60.9	59.9	
自分で選んだ服	563名	67.1%	9825名	67.6%	67.1	67.6	
キャラクターグッズ	519名	61.9%	8964名	61.7%	61.9	61.7	
その他	149名	17.8%	2316名	15.9%	17.8	15.9	
あてはまるものはない	2名	0.2%	30名	0.2%	0.2	0.2	
無回答	11名	1.3%	237名	1.6%	1.3	1.6	

〔中学生〕



**A-9.2022年の家計状況〔保護者 問7(1)〕**

大阪市鶴見区〔保護者全体〕では、「貯蓄ができています」617名 41.3%、「赤字である」276名 18.5%、「赤字でもなく黒字でもない」512名 34.2%、「わからない」80名 5.4%となっている。

大阪市鶴見区〔小学生保護者〕では、「貯蓄ができています」321名 45.3%、「赤字である」112名 15.8%、「赤字でもなく黒字でもない」236名 33.3%、「わからない」34名 4.8%となっている。

大阪市鶴見区〔中学生保護者〕では、「貯蓄ができています」296名 37.6%、「赤字である」164名 20.8%、「赤字でもなく黒字でもない」276名 35.1%、「わからない」46名 5.8%となっている。

**〔保護者全体〕**



**〔小学生保護者〕**



**〔中学生保護者〕**



**A-10.子どものための貯蓄状況【保護者 問7(2)】**

大阪市鶴見区〔保護者全体〕では、「貯蓄をしている」986名 66.0%、「貯蓄をしたいができていない」496名 33.2%、「貯蓄をするつもりはない」2名 0.1%となっている。

大阪市鶴見区〔小学生保護者〕では、「貯蓄をしている」494名 69.8%、「貯蓄をしたいができていない」209名 29.5%、「貯蓄をするつもりはない」1名 0.1%となっている。

大阪市鶴見区〔中学生保護者〕では、「貯蓄をしている」492名 62.5%、「貯蓄をしたいができていない」287名 36.5%、「貯蓄をするつもりはない」1名 0.1%となっている。

**【保護者全体】**



**【小学生保護者】**



**【中学生保護者】**



**A-11. 離婚相手との養育費の状況〔保護者 問4〕**

大阪市鶴見区〔保護者全体〕では、「取り決めをしており、受け取っている」55名 34.8%、「特に取り決めをしていないが、受け取っている」3名 1.9%、「取り決めをしておらず、受け取っていない」71名 44.9%となっている。

大阪市鶴見区〔小学生保護者〕では、「取り決めをしており、受け取っている」25名 40.3%、「特に取り決めをしていないが、受け取っている」0名 0.0%、「取り決めをしておらず、受け取っていない」21名 33.9%となっている。

大阪市鶴見区〔中学生保護者〕では、「取り決めをしており、受け取っている」30名 31.3%、「特に取り決めをしていないが、受け取っている」3名 3.1%、「取り決めをしておらず、受け取っていない」50名 52.1%となっている。

**〔保護者全体〕**



**〔小学生保護者〕**



**〔中学生保護者〕**



**A-12. 離婚相手との養育費の状況(ひとり親世帯)〔保護者 問4〕**

大阪市鶴見区〔保護者全体〕では、「取り決めをしており、受け取っている」46名 34.3%、「特に取り決めをしていないが、受け取っている」3名 2.2%、「取り決めをしておらず、受け取っていない」61名 45.5%となっている。

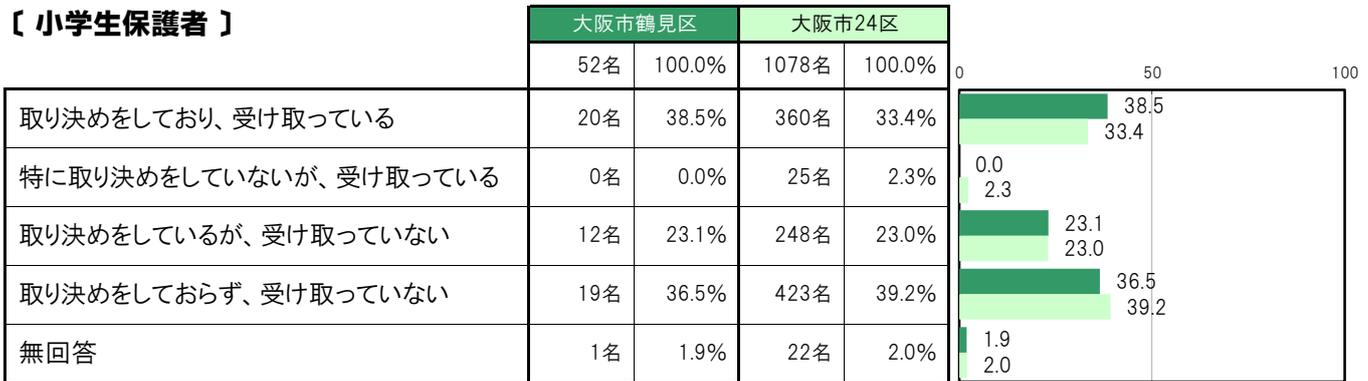
大阪市鶴見区〔小学生保護者〕では、「取り決めをしており、受け取っている」20名 38.5%、「特に取り決めをしていないが、受け取っている」0名 0.0%、「取り決めをしておらず、受け取っていない」19名 36.5%となっている。

大阪市鶴見区〔中学生保護者〕では、「取り決めをしており、受け取っている」26名 31.7%、「特に取り決めをしていないが、受け取っている」3名 3.7%、「取り決めをしておらず、受け取っていない」42名 51.2%となっている。

**〔保護者全体〕**



**〔小学生保護者〕**



**〔中学生保護者〕**



**A-13. 離婚相手との養育費の状況(母子世帯)【保護者 問4】**

大阪市鶴見区〔保護者全体〕では、「取り決めをしており、受け取っている」44名 37.0%、「特に取り決めをしていないが、受け取っている」3名 2.5%、「取り決めをしておらず、受け取っていない」53名 44.5%となっている。

大阪市鶴見区〔小学生保護者〕では、「取り決めをしており、受け取っている」19名 42.2%、「特に取り決めをしていないが、受け取っている」0名 0.0%、「取り決めをしておらず、受け取っていない」15名 33.3%となっている。

大阪市鶴見区〔中学生保護者〕では、「取り決めをしており、受け取っている」25名 33.8%、「特に取り決めをしていないが、受け取っている」3名 4.1%、「取り決めをしておらず、受け取っていない」38名 51.4%となっている。

**【保護者全体】**



**【小学生保護者】**



**【中学生保護者】**



**A-14. 離婚相手との養育費の状況(父子世帯)【保護者 問4】**

大阪市鶴見区〔保護者全体〕では、「取り決めをしており、受け取っている」2名 13.3%、「特に取り決めをしていないが、受け取っている」0名 0.0%、「取り決めをしておらず、受け取っていない」8名 53.3%となっている。

大阪市鶴見区〔小学生保護者〕では、「取り決めをしており、受け取っている」1名 14.3%、「特に取り決めをしていないが、受け取っている」0名 0.0%、「取り決めをしておらず、受け取っていない」4名 57.1%となっている。

大阪市鶴見区〔中学生保護者〕では、「取り決めをしており、受け取っている」1名 12.5%、「特に取り決めをしていないが、受け取っている」0名 0.0%、「取り決めをしておらず、受け取っていない」4名 50.0%となっている。

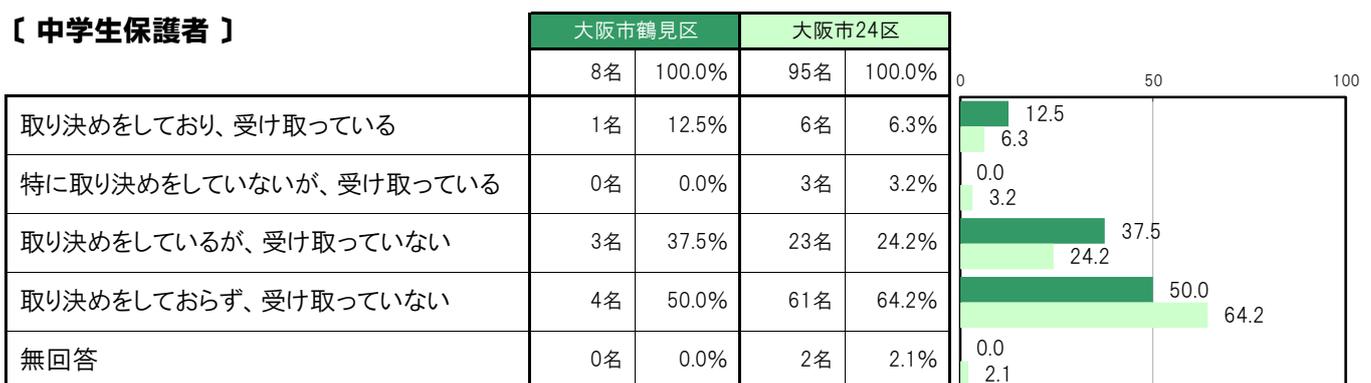
**【保護者全体】**



**【小学生保護者】**



**【中学生保護者】**



**A-15. 支援制度の利用状況／就学援助【保護者 問24-a】**

大阪市鶴見区〔保護者全体〕では、「現在利用している」186名 12.4%、「現在利用していないが以前利用したことがある」82名 5.5%、「利用したことがない」1081名 72.3%となっている。

大阪市鶴見区〔小学生保護者〕では、「現在利用している」70名 9.9%、「現在利用していないが以前利用したことがある」34名 4.8%、「利用したことがない」543名 76.7%となっている。

大阪市鶴見区〔中学生保護者〕では、「現在利用している」116名 14.7%、「現在利用していないが以前利用したことがある」48名 6.1%、「利用したことがない」538名 68.4%となっている。

**【保護者全体】**



**【小学生保護者】**



**【中学生保護者】**



A-15. 支援制度の利用状況／就学援助 ※2016年調査結果

大阪市鶴見区〔保護者全体〕では、「現在利用している」261名 16.2%、「現在利用していないが以前利用したことがある」131名 8.1%、「利用したことがない」791名 48.9%となっている。

大阪市鶴見区〔小学生保護者〕では、「現在利用している」116名 13.8%、「現在利用していないが以前利用したことがある」53名 6.3%、「利用したことがない」437名 51.9%となっている。

大阪市鶴見区〔中学生保護者〕では、「現在利用している」145名 18.7%、「現在利用していないが以前利用したことがある」78名 10.1%、「利用したことがない」354名 45.7%となっている。

〔保護者全体〕



〔小学生保護者〕



〔中学生保護者〕



**A-16. 支援制度の利用状況／生活保護【保護者 問24-b】**

大阪市鶴見区〔保護者全体〕では、「現在利用している」18名 1.2%、「現在利用していないが以前利用したことがある」15名 1.0%、「利用したことがない」1277名 85.4%となっている。

大阪市鶴見区〔小学生保護者〕では、「現在利用している」4名 0.6%、「現在利用していないが以前利用したことがある」7名 1.0%、「利用したことがない」620名 87.6%となっている。

大阪市鶴見区〔中学生保護者〕では、「現在利用している」14名 1.8%、「現在利用していないが以前利用したことがある」8名 1.0%、「利用したことがない」657名 83.5%となっている。

**【保護者全体】**



**【小学生保護者】**



**【中学生保護者】**



A-16. 支援制度の利用状況／生活保護 ※2016年調査結果

大阪市鶴見区〔保護者全体〕では、「現在利用している」40名 2.5%、「現在利用していないが以前利用したことがある」8名 0.5%、「利用したことがない」1039名 64.3%となっている。

大阪市鶴見区〔小学生保護者〕では、「現在利用している」20名 2.4%、「現在利用していないが以前利用したことがある」2名 0.2%、「利用したことがない」541名 64.3%となっている。

大阪市鶴見区〔中学生保護者〕では、「現在利用している」20名 2.6%、「現在利用していないが以前利用したことがある」6名 0.8%、「利用したことがない」498名 64.3%となっている。

〔保護者全体〕



〔小学生保護者〕



〔中学生保護者〕



**A-17. 支援制度の利用状況／生活困窮者の自立支援相談窓口【保護者 問24-c】**

大阪市鶴見区〔保護者全体〕では、「現在利用している」0名 0.0%、「現在利用していないが以前利用したことがある」13名 0.9%、「利用したことがない」1287名 86.1%となっている。

大阪市鶴見区〔小学生保護者〕では、「現在利用している」0名 0.0%、「現在利用していないが以前利用したことがある」5名 0.7%、「利用したことがない」624名 88.1%となっている。

大阪市鶴見区〔中学生保護者〕では、「現在利用している」0名 0.0%、「現在利用していないが以前利用したことがある」8名 1.0%、「利用したことがない」663名 84.2%となっている。

**【保護者全体】**



**【小学生保護者】**



**【中学生保護者】**



**A-18. 支援制度の利用状況／児童扶養手当〔保護者 問24-d〕**

大阪市鶴見区〔保護者全体〕では、「現在利用している」220名 14.7%、「現在利用していないが以前利用したことがある」38名 2.5%、「利用したことがない」1081名 72.3%となっている。

大阪市鶴見区〔小学生保護者〕では、「現在利用している」91名 12.9%、「現在利用していないが以前利用したことがある」19名 2.7%、「利用したことがない」533名 75.3%となっている。

大阪市鶴見区〔中学生保護者〕では、「現在利用している」129名 16.4%、「現在利用していないが以前利用したことがある」19名 2.4%、「利用したことがない」548名 69.6%となっている。

**〔保護者全体〕**



**〔小学生保護者〕**



**〔中学生保護者〕**



A-18. 支援制度の利用状況／児童扶養手当 ※2016年調査結果

大阪市鶴見区〔保護者全体〕では、「現在利用している」177名 11.0%、「現在利用していないが以前利用したことがある」23名 1.4%、「利用したことがない」923名 57.1%となっている。

大阪市鶴見区〔小学生保護者〕では、「現在利用している」76名 9.0%、「現在利用していないが以前利用したことがある」3名 0.4%、「利用したことがない」496名 58.9%となっている。

大阪市鶴見区〔中学生保護者〕では、「現在利用している」101名 13.0%、「現在利用していないが以前利用したことがある」20名 2.6%、「利用したことがない」427名 55.2%となっている。

〔保護者全体〕



〔小学生保護者〕



〔中学生保護者〕



**A-19. 支援制度の利用状況／児童扶養手当(ひとり親世帯)〔保護者 問24-d〕**

大阪市鶴見区〔保護者全体〕では、「現在利用している」110名 59.8%、「現在利用していないが以前利用したことがある」12名 6.5%、「利用したことがない」45名 24.5%となっている。

大阪市鶴見区〔小学生保護者〕では、「現在利用している」42名 55.3%、「現在利用していないが以前利用したことがある」4名 5.3%、「利用したことがない」25名 32.9%となっている。

大阪市鶴見区〔中学生保護者〕では、「現在利用している」68名 63.0%、「現在利用していないが以前利用したことがある」8名 7.4%、「利用したことがない」20名 18.5%となっている。

**〔保護者全体〕**



**〔小学生保護者〕**



**〔中学生保護者〕**



A-19. 支援制度の利用状況／児童扶養手当(ひとり親世帯) ※2016年調査結果

大阪市鶴見区〔保護者全体〕では、「現在利用している」143名 54.0%、「現在利用していないが以前利用したことがある」10名 3.8%、「利用したことがない」62名 23.4%となっている。

大阪市鶴見区〔小学生保護者〕では、「現在利用している」61名 50.8%、「現在利用していないが以前利用したことがある」0名 0.0%、「利用したことがない」36名 30.0%となっている。

大阪市鶴見区〔中学生保護者〕では、「現在利用している」82名 56.6%、「現在利用していないが以前利用したことがある」10名 6.9%、「利用したことがない」26名 17.9%となっている。

〔保護者全体〕



〔小学生保護者〕



〔中学生保護者〕



**A-20. 支援制度の利用状況／児童扶養手当(母子世帯)〔保護者 問24-d〕**

大阪市鶴見区〔保護者全体〕では、「現在利用している」101名 67.8%、「現在利用していないが以前利用したことがある」9名 6.0%、「利用したことがない」26名 17.4%となっている。

大阪市鶴見区〔小学生保護者〕では、「現在利用している」41名 68.3%、「現在利用していないが以前利用したことがある」2名 3.3%、「利用したことがない」12名 20.0%となっている。

大阪市鶴見区〔中学生保護者〕では、「現在利用している」60名 67.4%、「現在利用していないが以前利用したことがある」7名 7.9%、「利用したことがない」14名 15.7%となっている。

**〔保護者全体〕**



**〔小学生保護者〕**



**〔中学生保護者〕**



A-20. 支援制度の利用状況／児童扶養手当(母子世帯) ※2016年調査結果

大阪市鶴見区〔保護者全体〕では、「現在利用している」141名 58.3%、「現在利用していないが以前利用したことがある」10名 4.1%、「利用したことがない」50名 20.7%となっている。

大阪市鶴見区〔小学生保護者〕では、「現在利用している」60名 56.6%、「現在利用していないが以前利用したことがある」0名 0.0%、「利用したことがない」28名 26.4%となっている。

大阪市鶴見区〔中学生保護者〕では、「現在利用している」81名 59.6%、「現在利用していないが以前利用したことがある」10名 7.4%、「利用したことがない」22名 16.2%となっている。

〔保護者全体〕



〔小学生保護者〕



〔中学生保護者〕



**A-21. 支援制度の利用状況／児童扶養手当(父子世帯)〔保護者 問24-d〕**

大阪市鶴見区〔保護者全体〕では、「現在利用している」9名 25.7%、「現在利用していないが以前利用したことがある」3名 8.6%、「利用したことがない」19名 54.3%となっている。

大阪市鶴見区〔小学生保護者〕では、「現在利用している」1名 6.3%、「現在利用していないが以前利用したことがある」2名 12.5%、「利用したことがない」13名 81.3%となっている。

大阪市鶴見区〔中学生保護者〕では、「現在利用している」8名 42.1%、「現在利用していないが以前利用したことがある」1名 5.3%、「利用したことがない」6名 31.6%となっている。

**〔保護者全体〕**



**〔小学生保護者〕**



**〔中学生保護者〕**



A-21. 支援制度の利用状況／児童扶養手当(父子世帯) ※2016年調査結果

大阪市鶴見区〔保護者全体〕では、「現在利用している」2名 8.7%、「現在利用していないが以前利用したことがある」0名 0.0%、「利用したことがない」12名 52.2%となっている。

大阪市鶴見区〔小学生保護者〕では、「現在利用している」1名 7.1%、「現在利用していないが以前利用したことがある」0名 0.0%、「利用したことがない」8名 57.1%となっている。

大阪市鶴見区〔中学生保護者〕では、「現在利用している」1名 11.1%、「現在利用していないが以前利用したことがある」0名 0.0%、「利用したことがない」4名 44.4%となっている。

〔保護者全体〕



〔小学生保護者〕



〔中学生保護者〕



**A-22. 支援制度の利用状況／ひとり親家庭等就業・自立支援センター〔保護者 問24-e〕**

大阪市鶴見区〔保護者全体〕では、「現在利用している」4名 0.3%、「現在利用していないが以前利用したことがある」16名 1.1%、「利用したことがない」1277名 85.4%となっている。

大阪市鶴見区〔小学生保護者〕では、「現在利用している」2名 0.3%、「現在利用していないが以前利用したことがある」9名 1.3%、「利用したことがない」616名 87.0%となっている。

大阪市鶴見区〔中学生保護者〕では、「現在利用している」2名 0.3%、「現在利用していないが以前利用したことがある」7名 0.9%、「利用したことがない」661名 84.0%となっている。

**〔保護者全体〕**



**〔小学生保護者〕**



**〔中学生保護者〕**



**A-23. 支援制度の利用状況／子育て世帯生活支援特別給付金【保護者 問24-f】**

大阪市鶴見区〔保護者全体〕では、「現在利用している」95名 6.4%、「現在利用していないが以前利用したことがある」39名 2.6%、「利用したことがない」1178名 78.8%となっている。

大阪市鶴見区〔小学生保護者〕では、「現在利用している」39名 5.5%、「現在利用していないが以前利用したことがある」17名 2.4%、「利用したことがない」577名 81.5%となっている。

大阪市鶴見区〔中学生保護者〕では、「現在利用している」56名 7.1%、「現在利用していないが以前利用したことがある」22名 2.8%、「利用したことがない」601名 76.4%となっている。

**【保護者全体】**



**【小学生保護者】**



**【中学生保護者】**



**A-24. 支援制度の利用状況／新型コロナウイルス感染症に伴う生活福祉資金(貸付金)〔保護者 問24-g〕**

大阪市鶴見区〔保護者全体〕では、「現在利用している」9名 0.6%、「現在利用していないが以前利用したことがある」25名 1.7%、「利用したことがない」1271名 85.0%となっている。

大阪市鶴見区〔小学生保護者〕では、「現在利用している」6名 0.8%、「現在利用していないが以前利用したことがある」15名 2.1%、「利用したことがない」611名 86.3%となっている。

大阪市鶴見区〔中学生保護者〕では、「現在利用している」3名 0.4%、「現在利用していないが以前利用したことがある」10名 1.3%、「利用したことがない」660名 83.9%となっている。

**〔保護者全体〕**



**〔小学生保護者〕**



**〔中学生保護者〕**



**A-25. 就労状況別人数〔保護者 就労状況〕**

大阪市鶴見区〔保護者全体〕では、「正規群」1181名 79.0%、「自営群」151名 10.1%、「非正規群」104名 7.0%となっている。

大阪市鶴見区〔小学生保護者〕では、「正規群」571名 80.6%、「自営群」74名 10.5%、「非正規群」38名 5.4%となっている。

大阪市鶴見区〔中学生保護者〕では、「正規群」610名 77.5%、「自営群」77名 9.8%、「非正規群」66名 8.4%となっている。

**〔保護者全体〕**



**〔小学生保護者〕**



**〔中学生保護者〕**



A-25. 就労状況別人数 ※2016年調査結果

大阪市鶴見区〔保護者全体〕では、「正規群」1036名 76.8%、「自営群」180名 13.3%、「非正規群」102名 7.6%となっている。

大阪市鶴見区〔小学生保護者〕では、「正規群」564名 79.1%、「自営群」91名 12.8%、「非正規群」42名 5.9%となっている。

大阪市鶴見区〔中学生保護者〕では、「正規群」472名 74.2%、「自営群」89名 14.0%、「非正規群」60名 9.4%となっている。

〔保護者全体〕



〔小学生保護者〕



〔中学生保護者〕



【保護者 問10】より、就労状況の分類

大阪市における就労状況別の人数	24576名	100.0%
正規群	18093名	73.6%
自営群	3417名	13.9%
非正規群	1893名	7.7%
無業	344名	1.4%
その他	98名	0.4%
無回答	731名	3.0%

なお、分類方法は以下の通り。

父母あるいは主たる生計者に正規が含まれれば「正規群」〔問10選択肢1〕、  
 上記以外で、父母あるいは主たる生計者に自営が含まれれば「自営群」〔問10選択肢4〕、  
 上記以外で、父母あるいは主たる生計者に非正規が含まれれば「非正規群」〔問10選択肢2、3〕、  
 上記以外で、誰も働いていなければ「無業」〔問10選択肢6、7〕、  
 上記以外が「その他」となる。

ここでの無業とは、

「ふだん仕事をしていない者、すなわち、ふだん全く仕事をしていない者及び臨時的にしか仕事をしていない者」を指す。(就業構造基本調査による)

クロス集計で「就労状況」を用いる時は、上記区分による。